

女の子のバイク **ポップガール** 新発売!

新発売!

水冷・2サイクル
スーパートレール

NEW DT125

DOHC・Vツイン
スーパースポーツ

XZ400

ベルーガD NEW RZ250/350 RX50 *Special* / 80 *Special*





《特集》春一番、ヤマハ旋風
話題の新品ぞくぞく登場

〈その1〉愛されて2000万台
ヤマハモーターサイクル生産累計2000万台達成

昭和32年2月11日に誕生した第1号車125cc「YA1」から満27年目の2月10日、2000台目の「XZ550」が川上会長の手で記念のラインオフ

4

6

〈その2〉先進技術開発の新しいベース
ヤマハ技術センタービル完成

東海道新幹線の車窓からも望めるヤマハ技術センタービル。これこそ「技術のヤマハ」の新しいベース。どうぞご期待ください。



8

〈その3〉サリアン&ポップギャル記者発表会
マスコミを通じて、女性のためのバイクライフを提唱

500名ものマスコミ関係者を招いて、ファッションショーのようなサリアンとポップギャルの発表試乗会。この話題からまた次の話題が生まれる。



〈その4〉私にピッタリ
ジャスト・マイ・サリアン

「こんなピッタリ感のスクーターが欲しかった」サリアンの第1号のお客さまの声が、まさに商品性の適格さを立証

10



12 〈その5〉オフロードのニューヒーロー
スーパートレール DT125新発売

水冷エンジンを積んで、いま衝撃的なデビューを果たしたホットマシンの全容を。

14 〈その6〉いまミドルスポーツの世界が変わる
衝撃のスーパーVツイン XZ400

先進技術がVツインに、ワイルドでホットなスーパースポーツの血を注ぎ込んだ!



〈その7〉女の子のための、まったく新しい
スポーティファッションバイク ポップギャル

開発背景、商品特徴から新発売キャンペーンまで、この春の主力商品「ポップギャル」のすべて

17~20

〈その8〉さらにグレードアップした本格スクーター ベルーガD 新発売

ヤマハスクーターシリーズの最高級車「ベルーガ」にデラックスモデル新登場

21

〈その9〉スーパートレール DT125のおもなセールスポイント

22

〈その10〉Vツイン・スーパースポーツ XZ400のおもなセールスポイント

24



26 Country Road
Beautiful Motorcycle World

人気エッセイスト松山猛氏が描く、八ヶ岳山麓でのワイルダネスライフとバイク

28 〈モータースポーツハイライト〉
チャレンジは限りなく。ヤマハ'82レース活動計画

30 〈フレンド店登場〉
岐阜 いまローカル市場を活性化している2代目たちの新感覚



セールスQ&A
最も手軽で効果的な用品コーナーは?

33 〈情報スクランブル〉
●お客さまの意識と行動の変化●業界動向●業界をとりまく社会の動き

38

パワーアップ・ヤマハ奥さま
私の接客心得

34 ヤマハ★トピックス

40

〈セフティコーナー〉
『バイク讃歌』の筆者が語る市民獲得への情熱

36 〈SUGOインフォメーション〉
3月21日、スポーツランドSUGO、'82年度のオープン!

42

*販売店のオヤジ*さんが、バイクへの、商売への、安全への、思いを熱く語る。

36 パーツ&アクセサリ
「サリアン」コレクション

43

特集

春一番、ヤマハ旋風 話題の新商品ぞくぞく登場!

いよいよ3月。'82年商戦の成否を大きく左右する春商戦の開幕です。
ジャストスクーター「サリアン」につづく本格スクーター「ブルーガD」、
新しいギヤルズバイク「ポップギヤル」、話題のスーパートレール「DT1
25」、衝撃のミドルスポーツ「XZ400」……とこの3月もヤマハは、

市場性豊かな新商品を大挙して発売。同時に販促キャンペーンやマス広告
など、販売店みなさまの売りやすい環境づくりをすすめてまいります。こ
こにご紹介する新商品の内容、新商品にまつわるさまざまなトピックスを
ご一読のうえ、この春もどうぞ積極的にご拡販ください。



愛されて2000万台

ヤマハモーターサイクル 生産累計2000万台を達成!

川上会長(左)と小池社長のテープカットで記念すべき2000万台目の生産車がラインオフ



YA1からちょうど27年、2000万台目となったXZ550にまたがる川上会長と、小池社長(左)

2月10日、ヤマハはモーターサイクルの生産累計2000万台を達成しました。ヤマハの第1号モデルとして名高い125cc「YA1」の第1号車が、日本楽器製造(株)浜北工場で誕生したのが昭和30年2月11日。その日からちょうど満27年目にあたる57年2月10日、ヤマハ発動機(株)本社工場でラインオフした輸出モデル「XZ550」が、この記念すべき2000万台目となったのです。

高品質・高性能を合言葉に開発・生産をつづけて40年10月に1000万台、48年1月に500万台、52年6月に1000万台、55年2月に1500万台、そしてこのたびの2000万台を達成したのも、この間に、世界の130カ国に輸出、14カ国16社の海外現地法人、28カ国33社の海外KD拠点……と海外の生産・流通体制も拡充、文字通り世界中の人びとに愛されての2000万台です。

2月10日の2000万台目の生産達成ラインオフには、27年前みずから第1号車の刻印を打込んだ川上源一(会長(当時社長))も出席、小池久雄社長とともにテープカットを行いました。

世界の人びとに愛されて2000万台! ヤマハモーターサイクルのこの大きな実績は、みなさまの82年商戦に、さらに大きなパワーを発揮するものです。



技術のヤマハの新しいシンボル「ヤマハ技術センター」。南北の壁面を総ガラス張りにして自然採光による省エネ対策を施し、従来タイプよりも45%も空調エネルギーを節減している省エネ構造でもある



先進技術開発の 新しいベース ヤマハ技術センタービル完成

生産累計2000万台達成のビッグニュースと前後して、2月初旬には「技術のヤマハ」の新しいシンボルともなる「ヤマハ技術センタービル」が完成しました。

地上8階、地下1階、延べ床面積2万4千平方メートルのこの技術センターは、これまで社内の各所に分散していた研究開発スタッフと設備を一カ所に集約し、有機的な連携をすすめるながら、商品開発業務の合理化をは



モーターサイクルを中心とした、研究開発スタッフ約1000人が入る技術センター。内部には大型コンピューターが設置されフル活用される



かる目的で建設されたものです。
 このために内部には、CAD（コンピューター・エーデッド・デザイン）システムなどを導入。技術用大型コンピューターを駆使した研究開発を進める一方、試作部門の効率をアップして総合的な開発期間の短縮と質の向上を促進。さらに隣接地にデザインセンターを建設してデザイン部門との連携も一層強化していくことになっています。
 モーターサイクルひとつをとっても、今日のように開発機種が増え、その技術内容が高度化した現在ではハードウェア、ソフトウェアそれぞれの有機的な結合が求められているわけで、このことから新しい技術センターに集まる期待は大きなものがあります。
 さまざまな先進技術開発の新しいベースとして、また画期的な新商品を生み出すシンクタンクとして、完成した技術センタービルとともに、技術のヤマハのこれからに大いに期待ください。



技術関係の部長、取締役が出席して開かれた落成式で小池社長がテープカット



サリアン&ポップギャル記者発表会

マスコミを通じて “女性のための バイクライフ”を提唱

ジャストスクーター「サリアン」と女の子のバイク「ポップギャル」——話題の新商品2機種の記者発表会が、2月8日、東京・港区の東京プリンスホテルで開かれました。

現代女性のためのバイクライフショー”と銘打ったこの発表会は、ユニークなショー形式で開かれ、生活に、レジャーに、若い女性にバイクのある暮らしを提唱したものです。

サリアンのキャラクター・宮崎美子さんと

ポップギャルのキャラクター・小池玉緒さんを迎えて開かれたこのショーに、つめかけた報道関係者は約500名。サリアンとポップギャルの斬新なデザインと性能、豊富なオプションやライフスタイルを提唱しながら新商品を市場投入するヤマハの姿勢に、また化粧品メーカーとタイアップしてのポップギャルの新発売キャンペーンに強い関心が寄せられていました。

一般誌、女性誌、専門誌、新聞、テレビなどマスコミ各方面からの話題づくりは、既にスタートしている春商戦の中で、ひととき大きなパワーとなるものです。

ここでは、同時開催された商品展示会と試乗会から、マスコミの第1線で活躍される女性記者の声を聞いてみました。

**ポップギャルはきつと
ヒット商品になると思います！**

重松久恵さん

文化出版局(ハイファッション編集部)

ポップギャルがとても気に入りました。足を揃えて乗るよりも、またがって乗る方がバイクらしいでしょ。そんなバイクらしさを備えながらもファッション性も抜群で小粋な感じさえる。きつとヒット商品になると思います。



ポップギャルは

男性にもウケるのでは……？

田村幸江さん 講談社(月刊少年マガジン編集部)

私も普段50ccのソフトバイクを利用して



るひとりですが、サリアン、ポップギヤルともにファッションナブルで魅力的ですネ。若い女性をターゲットにするというポップギヤルは、男女間の趣味の差別化が少ない現代、意外と男性層にうけるんじゃないか、とも思っています。

ヤマハはいつも

流行の先端を走っていますね!

西野美奈さん 新潟総合テレビ 企画室

ヤマハはいつも流行の先端を走っていますね。このサリアンとポップギヤルはとても新鮮さを感じます。女性をメインターゲットにして、性格の違う2種類のバイクの発売は、選択の幅が広がってとてもいいですね。私はポップギヤル派かな……。



サリアンが欲しい!
というのが実感です!

井村美保子さん 暁出版社 編集部



私がヤマハに対して持っているイメージはどんな製品を作っても「上品」なこと。サリアンも、ファッション性抜群で日常の足として使うには最高。用品が揃っているし、パワーもあるのだから今から楽しみます。サリアンが欲しい!というのが実感です。

何もかもファッション化されている現代にピッタリ!

川口裕子さん (株)ジャーニー社 編集員



スポーツや旅行など、何もかもファッション化されている今の時代にピッタリですね。若い人にはすぐに受け入れられると思います。私は旅行関係の雑誌編集をしています。『ジヨギングの代わり』ソフトバイクですが、「……」というヤマハからのライフスタイルの提案も、今までのハイキングや小旅行というカテゴリーを大きく変えてしまうようですね。

ユニークなキャンペーンに魅力。

中井京子さん ニューライフ社 編集員

サリアン、ポップギヤル、どちらも新鮮な感じを受けました。ポップギヤルは、メインターゲットが同一というところで化粧品メーカーとタイアップ・キャンペーンをするとか。とってもユニークな企画だと思います。



ほんとうに「ジャスト・マイ・サリアン」という感じですよ。

小原照夫さん 東京都足立区

「サリアンは、ほんとうに私の求めていたスポーツイデで軽快なスクーター。ジャスト・フイットです。友人たちも口をそろえて、次はサリアンだ、と言っています」といかに満
足気に語ってくださいました。



それまで乗っていたパツソルの代替えとして、東京都足立区の多田輪業(多田芳明社長)さんからサリアンをいち早く購入した小原さんは19歳の学生さん。そのきっかけをさつそく伺ってみました。

「昨年買い替えを考えていましたが、ペルーガだと少し大きいかないか? という感じを受けていたんです。それと私の年令からすれば、ペルーガのようなアダルト感覚の落ちついたデザインよりも、スポーティな感覚で見
るから走りそうなデザインのスクーターが欲しい、と思っていたのです。そんな時、今

までがないスポーティなスクーターを店頭で発見。一目惚れしてしまってその場で購入手続きを済ませました」

これまでのスクーターではデザインや雰囲気
の面で、いまひとつ満足しえなかったという小原さんにとって、サリアンの登場はまさにジャスト・タイミング。はやくも、アルパイト先きへの通勤の足に、休日の外出にと、ブルイのサリアンは小原さんの足として大活躍。「振動も少なく、出足もいいですね。メーターパネルも大きくて見やすく、スイッチ類も
デラックス。不満なところは何ひとつ見あた

りません」と感想を語る小原さんは、またパーツやアクセサリー類の豊富な品揃えについても次のように話しています。

「サリアン自体のデザインがスッキリしていることはもちろん、オプション類がとて多
いのが魅力です。同じスクーターであっても人とは違った乗り方、違った雰囲気と乗りた
いというのがボクたちの感覚。自分を主張す
る、その気持ちを可能にしてくれるオプションの多さに、あらためて喜んでいきます」

そして、まず最初にフェアリングをとりつ
けるといふ小原さん。



「サリアンの軽快なフットワークは魅力」と小原さん

ぞくぞくと登場する'82年ヤマハニューモデルのトップを切って、1月20日から新発売されているジャストスクーター・サリアンは、宮崎美子さんのテレビCMとともに発売ひと月足らずで大きな反響を呼び起こしています。

そんな中から、いち早くサリアンユーザーとなられた2人のお客さまの声を東と西からご紹介しましょう。19才の男性と女性、ともにパツソルからのグレードアップというお2人。言葉こそちがえ2人のお話からはサリアンのすぐれた商品性をうかがうことができます。



「納車の日以来、雪が降っても毎日乗っています」と杉本さん

わたしにピッタリ!

“Just my Salient”

ジャストスクーター



のも、真奈美さんにとってもっかの悩み。
「バビューン」とスタートしますヨ。出足がと
つてもいいんです。父や弟が乗りたがるのも
もつともネ」とちよつぱり複雑な表情もみせ
ていました。

一方、京都市山科区の吉井モーターズ（吉井専之助社長）さんで、いち早くサリアンを購入された杉本さんもやはり19歳の女子学生さん。

京都市内で定期観光バスのガイド嬢のアルバイトのかたわら、洋裁学校へ通うという多忙な毎日を送る杉本さんが、サリアン新登場を耳にしたのは、お父さまからでした。

「昨年まで乗っていたパッソRDも、ちょうど代替の時期だったものですから、ヤマハから、ベルギーがよりもう少し小さいのが出ればいいなア……」と思っていました。そんな時、

父が販売店で、「ベルギーがより少し小さいのが出るらしい」という情報を聞いてきたので。それで……」

店頭で実物と、サリアンの大きなカタログを見て即断即決。

「ボディが一色で統一されていて、とてもスマートな感じ。バックミラーも見やすいし、それに、なんといつてもステップのスペースが広くて気に入っています」

そんなサリアンで、毎日の買い物に、ちょっとした外出にと、杉本さんの新しい生活が始まっています。

「このサリアン、乗りやすく比較的女性向きに作られている感じがしますね。女性でも何の抵抗もなく乗れますから。」

先日スーパーの駐車場で知らない女性から「サリアンを買おうと思ってるんですが、乗り心地はどうですか？」と尋ねられました。大変乗りやすいと教えてあげました」とか。

また、家族の中でもこのサリアンはたいへんな人気。
「パワーがあつて乗りやすいね」と、お父さんや弟さんまでが気軽に乗りまわしてしま

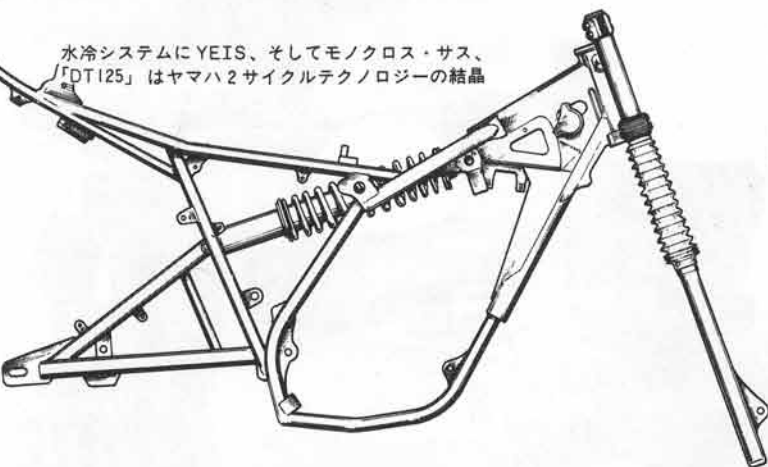
バビューン」とスタートしますヨ。出足がいいんです。

杉本真奈美さん 京都市山科区

オフロードのニューヒーロー

スーパートレールDT125 新発売!

水冷システムにYEIS、そしてモノクロス・サス、
「DT125」はヤマハ2サイクルテクノロジーの結晶



さて、サリアン、ポップギヤルと話題の新品が相ついで登場する一方で、幅広いスポーツユーザーの注目を一身に集めているのが5年ぶりにフルモデルチェンジ、トレールモデルとして初めて水冷エンジンを搭載したニューDT125です。
新発売に先がけて行なわれた記者発表試乗会でも「まさにYZレプリカだ!」「オフロードのRZだ!」と賞讃の声を集めたもの。また「82年は125スポーツの時代」の声も高まっていますが、なにはともあれ噂のホットマシン「DT125」の概要をQ&A形式にまとめました。カラーページともども一読のうえ、積極的な販売活動をご展開ください。

DTの系譜の中でも
三指に数えられる
エポックメーカーキング・モデル

Q見るからに「YZレプリカ」という感じで
開発意図が明快に伝わってくるが

Aそうです。スーパートレールを開発コンセプトにオフロード性能を徹底追求したのが、この「DT125」。性能、機能、デザイン、スタイリングとすべての面にトレールモデルの究極であるモトクロッサー「YZ」

のノウハウを投入してクラス最高のパフォーマンスと卓越したトータルバランスを実現した画期的なモデルです。

Q「トレールのヤマハ」としては、じつに5

年ぶりのフルモデルチェンジになるが
A68年のDT1以来、ヤマハはいつもトレールモデルの分野をリードしてきましたが、その68年のDT1、そして77年に初めてモノクロスサスペンションを装備したDT250さらに、今回の水冷「DT125」は、ヤマハトレールの長い歴史の中でも特にエポックメーカー的なモデルといえるでしょう。

Q非常に割り切ったつくり込みがなされているわけだが、では設計上とくに力点が置かれたところは

A設計のポイントとなっているのは第1にオフロードの走破性。これはクラス最高を誇るハイパワーと卓越した走行性能をいかにハイレベルにマッチングさせるかということ。第2は省エネルギーや低騒音といった社会性を備えていること。さらに第3点は操作性、点検整備性、快適性などを追求した親切設計です。

97kgの軽い車体に
クラス最高のハイパワーを誇る
水冷エンジン

Q具体的な個々の特徴について、まず新開発の水冷エンジンから

オフロードで、その真価を存分に発揮するニュー「DT125」。9ℓ容量のタンクと独特なロングシートは、見た目以上にはるかにスリムでライティングの自由度も最高。ブレーキとチェンジの両ヘッタルは可倒式。



Aすべてを新作したエンジンは、7000回転で16馬力、同じく7000回転で1・6kgmとパワー、トルクいずれもクラス最高の性能を誇るものです。これは、エンジンの水冷化、大型リードバルブの採用、各ポートセッティング、大容量マフラー・サイレンサーの装備というように吸気、掃気、排気のすべてにYZのノウハウを投入して実現したものです。細かな点では大端部ベアリングのリテーナーなどもYZと同じように銀メッキを施してあります。またミツ



シヨンは6速ですが、これもYZタイプのソフト機構を採用しています。

Qパワーフィーリングは？

Aオフロードモデルとして理想的なフラットトルクなことはいうまでもありません。ヤマハ独自の「YEIS」や一般市販車として初採用の「パワージェット付キャブレター」の効果で低中速から高速まで安定したパワーとシャープなレスポンスを発揮しています。

Qハイパワーと低燃費を両立させたYEISの効果は良く知られるところだが、「パワージェット付キャブレター」とは？

Aこれも市販ロードレーサーTZシリーズで開発し、実用化した技術です。一般的なVM型キャブにパワージェットを追加し、これまでメインジェットひとつで受け持っていた混合気のミキシング範囲を低中速域はメインジェット、ピーク回転域はパワージェットと細分化。これによってどの部分も

犠牲にすることなく、回転全域で理想的なセッティングを確保しているのです。

Qこのハイパワーが水冷化によって、一層安定したものになっているというわけだ。そういうえば記者発表試乗会でも「エンジンが静かすぎてどこまでトルクがついてきているのか良くわからない、でも5千、6千、7千と回転を上げて行くとグングンとついてくるのでびっくりする」という声が多く聞かれた—

Aそうですね。オフロードモデルでの水冷の優位性はモトクロッサーでも十分に立証されていますから、熱ダレのない安定したパワーの確保という点でも、騒音低減の面でも、また省エネの点でも……。事実この水冷エンジンでは、YEISや軽量化などともあいまって大幅に燃費性能を向上。オイル消費量などは半減されているほどです。

Qこのニューエンジンのもうひとつの特徴は、ヤマハの2サイクルとしては初めてバランスを内蔵していること。

Aそうです。このバランスは振動を低減して快適な乗り心地を確保するばかりでなく、軽量化にも大きな効果を発揮しています。

「なぜバランスを付けて軽量化か？」と思われるかも知れませんが、振動が低減すればそれだけフレームをはじめ車体各部にかかる強度負担が軽減されるわけで、それによって軽量化できる量がバランス装備による重量増をはるかにしのぐというわけ。このバランスは、信頼性の高いギヤ駆動方式でミッション上部に配したバランスサーをクランクシャフト右端のドライブギヤで駆動しています。

Q水冷化、バランス、ロングストロークの前後サス……と重量増に直結する条件がそろっているのに97kgの軽い重量で収められているのは？

A旧DT125よりも逆に2kgも軽くなっているのですが、これは前記のバランスによる振動低減をはじめ前後リムの高張力鋼板化、フエンダー、ラジエターカバー、サイドカバー、クリナーケース、シートボトムケース、チューンケース、大型エンジンガードなどの樹脂化、フロントフォークインナーチューブの薄肉化など総合的なキメ細かい軽量化によるものです。

この結果、1馬力当り重量は6・06kgとこのクラスのオフロードモデルとしては最も小さくなっています。

サス・ペンションにもYZノウハウをフル投入！

Q車体関係に目を移すと、最も印象的なのが長いフロントフォーク！

Aサスペンションは、フロントがアルミアウターチューブに35φ大径インナーチューブのリーディングアックス型。リヤは、新タイプのモノクロスサスペンション。そして前後とも旧DT125に対して50mmもストロークをアップし、前230mm、後200mmとオフロードマシン最大のホイールトラベルを確保しています。

Qストロークが長いだけに845mmと諸元上のシート高は高いが、でもシートにまたがってみるとフワアと驚くほどサスが沈み込み、足つき性も断然よくなってしまう！

Aそれも、これだけのロングストロークを確保したために可能となったことで、乗車時の足つき性は全く問題はありません。またフロントフォークには、アウトター、インナー両方のチューブの摺動部にYZと同じようにDUメタルを装備し、これで作動をソフトにしています。

また、モノクロス・サスペンションもス

プリングにテーパー・コイルを採用して小さなショックにはソフトに、大きな衝撃には十分な吸収性を発揮する、いわゆるライジングレート効果を生み出しています。

Qこの前後サスペンションの評価は、記者発表試乗会でもきわめて大きなものがあつた。「ギャップの連続する路面でもほとんどアクセルを開けて行ける。フラれることがないから不安感がほとんどない」というもの。このパワーユニットやサスペンションの飛躍的な向上に対して、タイヤは？

Aフロント2・75-21、リヤ4・10-18というサイズのタイヤは、新開発のBS・TWというブロックパターンを一段と強調したものの。オフロードの走破性を重点に開発したのですが、オンロード性能もきわめてハイレベルなことはいうまでもありません。

Q最後に、電装関係の特徴をまとめてみよう。

Aエンジン点火方式に「高速遅角型」のCDI点火を採用したのをはじめ、電装関係でも細部までキメ細かくオフロード機能を追求しています。

第1に6V35W/35Wのスクウエアタイプのヘッドランプですが、これはジェネレーター改良によって低回転時から十分な光量を得られるもの。同時にこのヘッドライトは、スクリューによる上下左右エミ

ング機構を備えて整備性を高めています。またスピードメーターと水温計や各種パ

イロットランプを組み込んだタコメーターを一体化した小型メーター。フレキシブルラッシュヤランプや軽量テールライト等もオフロード機能重視の安全設計です。

カラーページに「DT125」のセールスポイントをまとめてご紹介しました。あわせてご参照ください。

ミドルスポーツの世界を変える 衝撃のスーパーVツイン

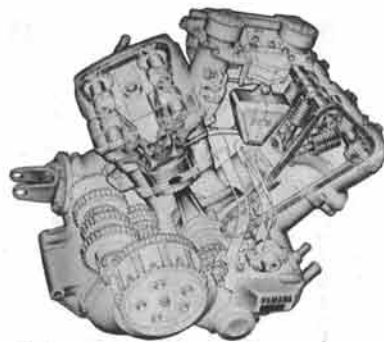
XZ400



この春オフロード派の話題が「DT125」なら、ロードスポーツ派の関心はただひとつ「XZ400」。2月からつづけられている予約セールの成果も大きく、新発売と同時に「XZ旋風」が吹きあれるのは必至の模様。スリムで先鋭的なスタイルに秘められた水冷、DOHC・4バルブ、Vツインが生み出すスバルタンな走り。マルチエンジンとは全く異次元の新しいVフイリングが、いまミドルスポーツの世界に新風を吹き込みます。

XVとは二変！ まったく新しいVフイリング！

Q 400ccといえば自動二輪市場の中核となるクラス、まずは最新の市場動向から——
A 総需要300万台時代を迎えて自動二輪市場も昨年は13万3千台(出荷、対前年比130%)と大幅な伸長を示しています。これに軽二輪を加えるとじつに24万台。ビッグスポーツバイク市場もいよいよ本格的な市場形成期の到来といえそうです。
そしてこの自動二輪の中心は400cc。昨年の総需要は約9万台で、うちXJ、RZ



軽量・スリム・コンパクト——ヤマハの400ccモデルのVツインエンジンを注目のポイントとして具現化した。ミドルバイクのVツイン方式に注目のシャフトを廃した伝動方式にも注目！

等ヤマハ車の占める割合は42%と圧倒的です。
Q 400ccでもその主流は4サイクル、4気筒モデル。こうした市場に、なぜいまVツイン・スーパースポーツ「XZ400」がデビューするのか？
A 現在の400ccモデルラインアップでは飽き足らない層、主にヤングアダルトと呼ばれる需要層に「Vツイン・スーパースポーツ」というまったく新しいジャンルのモデルを提供しようというものです。
Q 具体的にVツインのスーパースポーツ「XZ400」とはどんなバイクなのか？
A コンパクトでスリムなパワーユニットからパワフルでフレキシビリティに富んだ動力性能を引き出し、軽量な車体と理想的なマッチングをはかって軽快でシャープなハンドリング特性を発揮させる——というのが、モーターサイクルの原点なわけですが、こ

れを昨年来XV750で採用してきたインラインVツイン・エンジンで今度はスーパースポーツとして、それもミドルクラスの頂点モデルとして展開しよう、というのがこの「XZ400」の開発意図なのです。
Q 同じインラインVツインでもXV750とは全く性格の異なるエンジンである——
A 販売店さまにもユーザーの方にも、この点をまず第一に認識していただく必要があります。単気筒当り200ccですから中低速域では、いかにもモーターサイクルらしいトルク感のあるパワーフイリングを發揮しますが、このトルクがいつまでも尾を引きながらスカーのように吹き上がっていき高速域、それはまさに高回転・高出力型のスーパースポーツのもの。このまったく新しいVフイリングを生み出しているのが、DOHC・4バルブというハイメカニズムなわけです。
Q 開発の背景が浮かび上がってきたところで、設計上とくに力点が置かれているところは、
A スーパースポーツとしての●エンジン性能●車両重量●ハンドリング性能●ブレーキ性能の追求。そしてコントローラブルなマシンとしての各性能の「トータルバランス」ということですね。
より具体的には、エンジンは「水冷・インラインVツイン・DOHC・4バルブ」という世界にも類のないハイメカニズムを結集。しかもYICSも採用しています。また軽量化の徹底はもとより、新開発のパイプバックボーンフレームとあわせてインラインVツインのメリット「スリム」さを最大限に生かした車体構成を実現。なんとバンク角は49度にも達するほどです。強力なストップピングパワーもスーパースポーツの絶対条件ですが、特にフロントのWディスクブレーキには新技術を採用しています。



予約セール
大好評実施中!

そして、これらのトータルバランスを何よりも重視し、780mmという低シート高とあいまって、文字通り乗る人が意のままにコントロールできる。乗りこなすスポーツバイクとしてのモデルづくりをしています。さらに、戦闘的で未来感覚あふれるスタイリングとともに最高級400ccモデルとしてのスタイリング、装備であることはいままでもありません。

Vツイン特有のトルク感と DOHC・4バルブの 高回転・高出力の融合

Qでは具体的に箇々の特徴をみてみよう。第一はなんといっても最も関心を呼んでいるパワーユニットから――

A Vツインエンジンが発揮しうる最高の性能を求めて、そのために可能なすべてのメカニズムを投入したのがこの新しいVツインです。まさに最強のメカニズム。

DOHC・4バルブは、ヤマハ独自のバルブリフター方式で、ロッカーアームを廃してダイレクトにバルブを駆動するもの。

4バルブの利点は、吸入、排気とも2本ずつのバルブを有することで往復運動部分の質量を下げ、バルブの追随性が向上して高回転が得られやすいこと。さらに吸・排気ともポート面積が大きくなることから吸・排気効率が向上、高出力が得られることです。「XZ400」では、バルブ狭さみ角を立てて燃焼室の形状を完全なベントルーフ型として、一層燃焼効率を向上させていますが、これによりツインながら45馬力、じつに1リットル当り112馬力のハイパワーを実現しています。

なお、4バルブ化にもなって排気系も2エキゾーストとしています。

Qこのハイパワーを一層安定させているのが水冷システム……?

A ええ、4バルブといっても問題が皆無というわけではありません。その第1はヘッドまわりの熱問題。それだけに空冷では4バルブの利点、4バルブ化で得た高性能を活かしきれない。4バルブなら水冷というのがヤマハの考えなのです。この水冷機構

は加圧式アルミ製ラジエターをエンジン前部に配し、サーモスタットを採用して電動ファンも装備した。液温105度以上で電動ファンがまわり強制的に冷却。またメインスイッチをオフにしても105度以上の冷却液温の場合は、電動ファンが回転をつづけますので、高速走行後の停車時や夏場の渋滞路での走行時に特に効果を発揮します。

Q エンジン交角は、70度とXV750とは異なっているが?

A ストパースポーツとして理想的なホイールベースを確保することからエンジン全長を決定。必然的に交角もXV750よりも狭い70度となったのです。当然、振動面でもXVの75度とは異なったものとなってきますが「XZ400」では、もっか特許申請中の「一軸3ウェイト式バランス」を採用して大幅な振動の低減をはかっています。

Q その一軸3ウェイト式のバランスとは?

A このバランスは、クランクケースの前方に配してクランクシャフトによってギヤ駆動するものです。

3つのウェイトのうち、中央のウェイトでクランク異相分20度のバランスをとり、左右2つのウェイトが前後シリンドラーのオフセット分24mmの慣性偶力をとるという構造。これによって、マルチエンジンに匹敵する低振動と、同時に「XZ400」独自のダイナミックなパワーフィーリングを生み出しているのです。

Q またエンジン関係で注目されるのは、乗用車と同じダウンドラフト型のキャブレターを採用していること、XV750にはなかった省エネルギーエンジンシステムYICSを初めて採用したことだが――

A エンジンの構造からキャブレターは、自動二輪としては初のダウンドラフトタイプを

採用しています。いうまでもなく、吸気系は、吸入ポートまで一直線で抵抗がないのが望ましいのですが「XZ400」では、燃料タンク裏に配した大容量のエアクリーナから、大径34φの2連キャブ、吸入バルブとはほぼ直線的に混合気を送ることで吸入効率を向上させています。

また、このダウンドラフト型キャブは、ダイヤフラム式の加速ポンプを装備し、スロットルレスポンスを一段とシャープなものにしています。



バンク角49度に象徴されるスリムな車体構成の威力が存分に発揮される(写真は、袋井ヤマハコースでXZ550をテストランするヨーロッパのモータージャーナリスト)



XZのストリップ。いかにスリムな車体構成かが一目りよう然。タンク部のビッグなエアクリナーが印象的

一方、ヤマハ独自のYICSもVツイン

エンジンとして初めて採用しました。これもXJシリーズのように、4気筒エンジンでつねに1気筒の吸気に対し、残る3気筒の吸気圧力差を利用してスワール効果を生み出すものとは異なり、吸気系に設けたエアチャンバーで圧縮行程時の混合気の一部を吸収、吸入行程時に吐き出すことでスワールを発生させるもの。これによって、高出力と低燃費を両立させていることは、他のYICS装備モデルと同様です。

◎その他エンジン関係で、特筆すべきセルスポイントは――

▲ちなみにミッションは5段変速。XZの出力特性に理想的にマッチさせたものです。また、点火方式も、ヤマハのビッグバイクでは常識化している最も進んだ形の電子進角式フルランジスタ点火方式です。

400cc初のVツイン+シャフトドライブ・フリーリング

◎パワーレインもヤマハの400ccでは初めてシャフトドライブが採用

されて話題を呼んでいるが――

▲インラインVツインとシャフトドライブの組み合わせは、すでにXV750で採用して耐久性、信頼性を立証しているものです。しかし「XZ400」のシャフトドライブ機構は、エンジン側のミドルシャフトを廃した3軸式。ドライブ軸にそのままベベルギヤを取付けたもので、伝動効率を高めるばかりでなく、エンジンの軽量化、コンパクト化に直結したものの。従来ミドルシャフトに設けていたトルクリアクション吸収のためのメカニカルダンパーは、ドライブシャフト本体に移しています。

◎モノクロスサスペンションも4サイクル・400ccでは初めての機構だ――

▲そうです。すでにロードスポーツでもRZ250/350、またXV750スベシヤル/Eと数多くに採用されて、衝撃吸収性とロードホールディングにすぐれた効果を得ています。

發揮しているヤマハ独自のモノクロス・サスペンションをこの「XZ400」でも採用しています。

また、これと関連してフロントフォークはセミエア式ダンパーを採用。リヤのモノクロスサスペンションとともにスーパースポーツとして理想的なサスペンション性能を生みだしています。

◎フロントフォークといえば、きわめてユニークなトレーリングアクスル型だ――

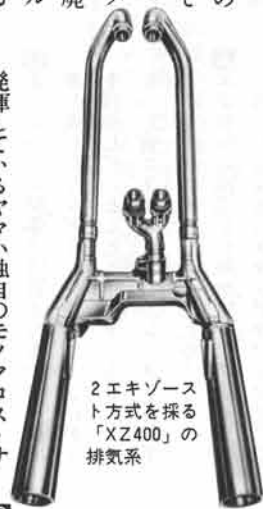
▲これは、スーパースポーツとして非常に重要な条件であるハンドリング性能を高めるとともに、理想的なホイールベースを確保するために新開発したものです。この結果、重心がフォークの後方に移ることから、インナーチューブとアウトチューブのフリクションロスも少なくなり、作動性もきわめてスムーズになっています。

◎フレームの形式もまた、きわめてユニークなものだが――

▲フレームは、ご覧のとおりダウンチューブがクランクケース上面を通る新しいパイプワークのもので、Vツインエンジンを懸垂支持するこのタイプを「パイプバックポーン」と呼んでいます。軽量で高剛性なことはもちろん、このフレーム形式を採用することで重心位置と重量マスを極力低下させることができ、スーパースポーツとしてのすぐれた運動性能を確保しているのです。

◎ライディングポジションは？

▲いかにもスバルタンなスーパースポーツらしい前傾姿勢となることはいうまでもありません。これは幅をきりつめたセパレート式ハンドル（ちなみにこれは豪華なアルミ鍛造製です）とニーグリップ部に深いえぐりを与えた大型燃料タンクそしてバックステップの3点の関係をシビアに追求した結果生み出されたものです。



スーパースポーツの採用「XZ400」の2キ方式の排気系

◎その他車体関係の特徴は？

▲見逃せないのが、フロントのダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクをニューデザインのカヤストホイールにダイレクトにマウントして、バネ下重量を軽減させていますが、パッドにも新開発のセミメタルを採用。リヤの180φ大径ドラムブレーキとともに、強力なストッピングパワーを發揮します。

最高級ミドルランナーとしての車格と装備

◎最後に電装関係の特徴をまとめてみよう――

▲スクエアタイプ60/55Wのヘッドランプは、もちろんハロゲンランプ。2球式テールランプはテールカウルと一体化し、スピーディーな感覚を打ち出しています。またこのテールカウルは、左右セパレートモールドグラブバーと一体化したデザインとなっています。

そして、もうひとつの特徴的な新機構は、メーターデザインをきわめてシンプル化し、各種のパイロットランプをすべてハンドルクラウン部にインテグレートしていることです。

この他にも、400ccモデルでは初の電気式タコメーターの採用など、「XZ400」にはもりだくさんのセールスポイントがちりばめられています。カラーページもあわせてご参照ください。

3月15日 新発売



まったく新しい発想から生まれた、女の子のためのスポーティファッションバイク「ポップギヤル」。すでに2月中旬からスタートしたカネボウ化粧品とのタイアップキャンペーンによってポップギヤルの発売を待ちわびる市場の話最も最高潮。

そこで、3月15日の発売を前に、ここでもう一度ポップギヤル誕生の背景、ユニークなその商品性そして話題の市場導入キャンペーンなどをまとめてご紹介しましょう。ポップギヤルこそ、この春商戦一番の話題商品。もりあがる新発売ムードにのせて一気にご拡販ください。

女の子のための まったく新しいバイク ポップギヤル

なぜいま女の子のバイク
スポーティファッションバイクなのか？

ポップギヤルは、スポーティファッション派と呼ばれるような活動的な女の子のバイク。そしてこの画期的な新商品には、大規模な未婚女性市場の開拓をめざすヤマハの大きな意欲が秘められています。

では、なぜいまスポーティファッションバイクなのか？ ポップギヤル開発の背景からご紹介しましょう。

● 増えつつける未婚女性需要

52年のパッソル発売から今日までのファミリーバイク市場の変化をつぶさに眺めてみると、驚異的な市場拡大の中でその原動力となってきたいくつかの特徴的な傾向を指摘することができます。

その中で最近の顕著な傾向といえるのが「未婚女性需要」の着実な増加です。昨56年はヤングレイディ向けのスポーツスクーター・パセッタの発売もあってヤマハファミリーバイクに対する未婚女性の需要は、推定で55年の150%、52年のじつに4倍近くにも達するとみられています。

● 女性需要の増加条件は十分

同時に最近の独身女性の周辺にとびかうさまざまな情報の中に、バイクやスクーターに関するものが急増している事実をみると、推定8%前後と普及率のきわめて低い需要層ながら、今後の拡大条件は十二分にそろっている独身女性需要とみる事ができます。

● 数多いスポーティファッション派

では、'82年以降急激な増加が期待される未婚女性のバイクニーズとはどんなものか？ これを考えるために未婚女性のバイクに対する好みを多面的に分析してみると(1)エレガンス派、(2)スポーティファッション派、(3)スポーツレジャー派の3グループに大別できること。しかも、女性らしいパッソル、パセッタ、パッソラなどを好むエレガンス派と同様か、



それ以上によりスポーティなもの、よりポーションシユなものを求める女性たちが多数いることも立証されたのです。

●エレガントなスクーターには乗りの切れなかつたスポーティファツシヨン派の女性に

こうしたことから、今回とくに未婚女性の中でも「スポーティファツシヨン派」と呼ばれるような、おしゃれで、行動的な女性をメ

インターゲットに開発したのがこの「ポップギヤル」なのです。

『ポップギヤル』の具体的な商品特徴は、次のカラーページにご紹介したとおりですが、

『ポップギヤル』は、スポーティファツシヨン派ギヤルのニーズに対応するため女性の体格、またぎやすさ、使いやすさを最優先したスタイリングなどから、可能なかぎりスポーツ感覚を表現したデザインとなっています。

そして、走りや性能も、スピードフィーリングが十分に味わえ、行動半径を楽しく拡大できるよう、ファミリーバイクとしてはきわ

めてハイレベルなものとなっています。

●まずオビニオンライダーからアプローチ！

メインターゲットとなるスポーティファツシヨン派の女性とは、言葉を代えれば新しいファツシヨンのひとつとして、自分の暮しの中に積極的にバイクをとり入れ、それによつ

カネボウとのタイアップキャンペーンをはじめ

この春の話題をさらう、大規模な『ポップギヤル』新発売キャンペーン

さてこうした『ポップギヤル』の市場導入キャンペーンとしては、業界初の試みとして大きな話題を呼んだカネボウ化粧品とタイアップのキャンペーンがすでに2月中旬からスタート。

「女たちよしなやかなネコのように」を共通キャッチフレーズに、キユートな小池玉緒を共通キャラクターとしたマス広告活動が、TVスポット、雑誌、車内吊り、駅貼り、JUNポードとあらゆる媒体を通じて展開され、話題づくりとメインターゲットに対する『ポップギヤル』の認知度アップをはかっています。

●全国イベントからお店独自の企画まで多彩な販促活動を商圏の話題づくりを

同時に、カネボウの新製品「ヘパレットキヤット」のヤマハオリジナル仕様を先着5000名にプレゼントしていただく予約プレゼントセールも3月14日まで好評実施中。

また、プレキャンペーンのメインとなる1千台のモニターキャンペーン『ポップギヤルライダー1000名募集』も3月、4月の2回に分けてスタートします。

て自己表現やライフスタイルの主張を行なおうという進歩的な女性たち。

したがって、新発売時には特にパセッターのように女性全般に均一的なアプローチをするのではなく、商圏内でイメージリーダー的役割をするような、オビニオンライダーとなりうるような女性ユーザーから、まずアプローチを開始したいものです。

さらにカネボウとのタイアップ企画の一環として大阪、名古屋、福岡、札幌のデパートカネボウコーナーでのデモンストレーションと全国75カ所のカネボウコーナーでのイベントタイアップが4月末まで継続開催。

そして3月5日から3月31日までは、全国主要書店300店でユニークな「ブック・イン・ブック」キャンペーンを展開して大規模な話題づくりをすすめてまいります。

もちろん、これら全国スケールの広告・販促キャンペーンをうけて『ポップギヤル・キヤンパスキヤンペーン』など各地の市場特性にあわせたキメ細かい市場導入作戦もさまざまに企画されています。また●スクーターフェアでのポップギヤルの打出し●地元のアティックや化粧品店とのタイアップセール●地元大学クラブとのタイアップ……など、それぞれのお店の商圏特性を最大限に活かしたイベントやお店独自の販促企画も大いに期待される所。

どうぞ、この春ヤマハが全力を投入して展開する、カネボウとのタイアップキャンペーンの成果を逃すことなく、お店の『ポップギヤル』新発売セールを、効果的にご展開ください。

「バイクはファッション・アイテム」
 「バイクはスポーツ・グッズ」
 そんな女の子のバイク

Poppal



1. ギャルたちのスポーツごころを触発する ナウなアメリカンスタイル

- ソフトバイク初のティアドロップタンク(3.2ℓ容量)
- 楽な乗車姿勢がとれるブルバックハンドル
- ゆったりした大型ステップシート
- スポーティなメガホン・ショートマフラー
- 直線基調のV型フレーム
- 14インチの大径フロントタイヤと12インチの太いリアタイヤ
- スポーツムードいっぱいのスピードメーター

2. ギャルたちのハートをとらえる スピード・フィーリング

- オートマチック2速とシャフトドライブのき

びきびした走り

- 2本リヤサスペンションのソフトな乗り心地
- ブレーキもききのよいリーディング・トレーリングタイプ(前後とも)

3. 「バイクは初めて」 そんなギャルにも簡単な 親切設計のかずかず

- 始動も簡単なセルスターター(MS50E)

- ビギナーにも安心な操作部の絵文字表示
- 残量もひと目でわかる燃料タンク上部のガソリンメーター
- 足つき性も抜群690mmの低シート高
- オートコック+オートチョーク
- オイル切れを知らせるオイル警告灯
- 便利なバニティミラー付小物入れ
- ヘルメットホルダー
- ハンドルロック

ポップギャル・MS50E(MS50)仕様諸元

●全長1600mm ●全幅675mm ●全高990mm ●軸間距離1095mm ●シート高690mm ●最低地上高105mm ●乾燥重量54(51)kg
 ●舗装平坦路燃費75km/ℓ(30km/h) ●制動停止距離3.5m(20km/h)
 ●2サイクル・空冷・単気筒・49cc ●内径×行程40×39.2mm ●圧縮比6.5 ●最高出力3.0PS/6000r.p.m. ●最大トルク0.42kg-m/4000r.p.m. ●始動方式セル(キック式) ●点火方式CDI ●燃料タンク容量3.2ℓ ●オイル容量0.8ℓ ●潤滑方式ヤマハオートループ ●クラッチ形式湿式内拉重錘式 ●変速機オートマチック2段変速 ●フレーム形式パイプアンダーボーン ●タイヤサイズ(前)2.25-14-4PR(後)3.00-12-2PR ●ヘッドランプ6V25W/25W

いま、ギャルたちの話題

ポップギャル新発売 キャンペーン



'82春のアイドルは、キュートな
スポーティ・ギャル小池玉緒



もうご覧になりましたか？ バイクと化粧品、ヤマハとカネボウがしっかりと手を組んで2月中旬からにぎやかにくりひろげているタイアップ広告。

TVスポット、女性誌広告、新聞広告、駅貼・中吊交通広告、屋外広告とあらゆるメディアを駆使してパワフルに展開しているこのタイアップ広告が、タウンに、キャンパスに、春の訪れを告げて活動的なギャルたちの話題を呼んでいるのです。

また、これと並行して「Book in Book」「ポップギャル・ライダー募集」「予約プレゼントセール」……など多彩な販促キャンペーンも展開中！ この春、一気にもりあがるポップギャル人気にのせて、3月15日の新発売と同時に、積極的にご拡販ください。

For Beautiful Human Life

女たちよ、しなやかなネコのように。

滑らかなパレットとキヤット

思いどおり36色、磁力でセット。

新発売

レディメイクアップコレクション

カネボウ化粧品

YAMAHA

女たちよ、しなやかなネコのように。

滑らかなパレットとキヤット

1,000cc

新発売

3月15日 女の子のバイク=ポップギャル YAMAHA Popgal



さらにグレードアップした 本格スクーター ベルーガD新発売!



●チャビィレッド
(写真はCV80ED)



●ホワイト(写真はCV50ED)



●ロイヤルシルバーメタリック
(写真はCV50ED)

ヤマハスクーターシリーズの最高級モデル『ベルーガ50/80』に、デラックスモデル『ベルーガD』の新登場です。

洗練されたデザイン、ゆとりある性能、使いやすい機能……とすでに定評の本格設計にまた一段と磨きをかけた『ベルーガD』。

これにより、ヤマハスクーターシリーズは全7機種、12タイプ、'82年もスクーター市場をリードする最強のラインアップの完成です。

ベルーガCV50EDの新たな特徴

- スタイリングと機能面のグレードアップ
- 1. CV80Eと同じフロントトラックを標準装備
- 2. シート形状を変更、キルティング付として乗車感を向上
- 3. 左バックミラーを標準装備
- 4. スタンド操作、シートロック操作を容易にするためリヤキャリア形状を変更
- 5. テールレンズの反射面積を拡大して安全性を向上
- 6. シートアンダーカバーをボディと同色にして、一段と本格スクーターらしさを強調
- 7. ヘルメットハンガーの形状と位置をより操作しやすく改良

●メカニズム面のグレードアップ

1. クランクケース改良による1次圧縮のアップ、オートチョークシステムの改良などにより始動性をさらに向上
2. 点火時期の変更、伝動効率のアップで燃費性能を向上
3. フライホイール・マスの縮小、オイルシールの改良、そして後輪駆動ギヤ形状の変更などで、総合的な伝動効率をアップし走行性能を向上
4. 二重防振機構のエンジンマウントの改良で車体に伝わるエンジン振動をさらに低減
5. ボディカバーの合わせ面に緩衝材を入れてビビリ音を減少

ベルーガCV80EDの新たな特徴

- スタイリングと機能面のグレードアップ
- 1. シート、2. リヤキャリア、3. テールレンズ、4. 左バックミラー、5. シートアンダーカバー、6. ヘルメットハンガー……いずれも CV50EDと同じ内容

●メカニズム面のグレードアップ

1. 始動性の向上、2. 振動の低減、3. 騒音低減の3項目で、内容は CV50EDと同じ

新しいカラーリングは、チャビィレッド、ホワイト、ロイヤルシルバーメタリックの3カラー。これはCV50ED/80EDとも共通です。

スーパートレール

NEW DT125

またニューDT125。それは、まさに「スーパートレール」と呼ぶにふさわしい。



●48°の切れ角を持つハンドル。ショウターレバー、左右標準装備のバックミラー、フレキシブルステアのフラッシャーランプなどすべてにオフロード機能を追求。

●左にスピードメーター、右に水温計を組込んだタコメーターを配し、絵文字表示の各種インジケーターを機能的にレイアウトしたメーターパネル。ハンドルロックはメインスイッチ体式。



●35W/35Wの明るいスクエア・ヘッドランプ。ジェネレーターの改良、レギュレーターの装備で低回転時から十分な光量が得られるほか、上下・左右エイミング機構を備えて安全性、整備性を向上。

●泥ハネ防止効果の高い大型フェンダー

●軽量・コンパクトなアルミ製ラジエーター。タンク幅内に納めてスリムなポジションとニードリップの自由な動きを確保。

●トレール車最大230mmのホイールトラベルを持つフロントフォーク。上下の摺動部にDUMETALを採用して作動性を向上。飛石からインナーチューブを守るフォークブーツも装備。

●低速から最高速まで理想的なセッティングを可能にしたパワージェット付キャブレター

インレッド



●軽量・高剛性の高強度鋼板リム

●樹脂製フルエンジンプロテクター

●新開発の水冷2サイクル・単気筒エンジンは、クラス最高の16馬力を発揮。

●Y.E.I.S.を装備して高出力と低燃費を両立。

●ヤマハの2サイクルモデルで初めてバルンサーを内蔵。

●高速遅角型CDI点火システム。



●トライアルランや林道走行で威力を発揮する可倒式チェンジベダル、可倒式ブレーキベダル

<DT125仕様諸元>

- 全長2120mm ●全幅820mm ●全高1170mm ●シート高845mm ●軸間距離1345mm ●最低地上高270mm ●乾燥重量97kg
- 舗装平坦路燃費57km/ℓ(50km/h) ●登坂能力30度 ●最小回転半径2.1m ●制動停止距離8.5m(35km/h)
- 水冷2サイクル・トルクインダクション・123ccエンジン ●内径×行程56mm×50mm ●圧縮比7.2 ●最高出力16PS/7000r.p.m. ●最大トルク1.6kg-m/7000r.p.m. ●始動方式キック ●潤滑方式ヤマハオートループ ●エアクリーナ湿式ウレタンフォーム植毛 ●燃料タンク容量9ℓ ●キャブレター-VM24 ●点火方式CDI ●点火プラグB8ES(NGK) ●バッテリー容量6V6AH ●バッテリー型式6N6-3B
- 1次減速(比)ギヤ(3.227) ●2次減速(比)チェーン(3.266) ●クラッチ湿式多板式 ●変速機リターン式6段 ●変速比①3.500②2.214③1.555④1.190⑤1.000⑥0.840 ●フレーム鋼管セミダブルクレードル ●キャスト28°30' ●トレール116mm ●タイヤ(前)2.75-21-4PR(後)4.10-18-4PR ●ブレーキ機械式ドラム(リーディングトレーリング) ●懸架方法(前)テレスコピック(後)モノクロス・サスペンション ●緩衝装置(前)オイルダンパー+コイルスプリング(後)ガス+オイルダンパー+コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)230mm(後)200mm ●ヘッドランプ6V35/35W ●テールランプ6V5.3W ●ストップランプ6V17W ●フラッシャーランプ6V17W ●メーターランプおよび各種パイロットランプ類6V3W

オフロードの走りを極めた。

'68年のDT1以来、一貫してトレールの世界をリードしてきたヤマハが、そのテクノロジーのすべてを結集して完成さ

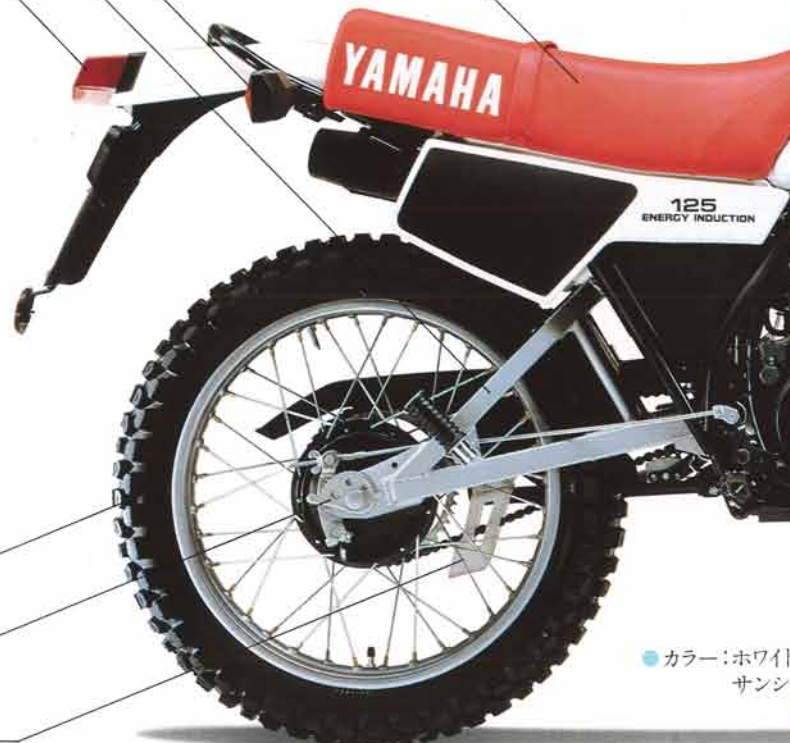
- フレキシブルステ어의フラッシャーランプ
- トレールモデル最大200mmのホイールトラベルを実現したモノクロスサスペンション。スプリングにターバーコイルを使用して、ライジングレート効果も発揮。
- 小型ながら被視認性の高いテールランプ

●YZタイプのシート&タンク。この独自の構造が、つねに理想的なライディングポジションを可能にする。

●クラス最大9ℓ容量のフュエルタンク



- オフロードの走破性とオンロードでのグリップ性を兼ね備えたニューパターンタイヤ
- チェーン調整が容易な、スネールカム式チェーンブラー
- チェーントラブルを防止するチェーンテンショナー



●カラー：ホワイトサン

ニューカラー、ニューグラフィックで新発売

スポーツユースのヤングからビジネスユースのアダルトまで、きわめて幅広いユーザー層に愛用されているRX50/80 Specialが、カラーリングとグラフィックを一新。その高質感にさらに磨きをかけて新発売です。

ニューカラーは、RX50 Specialのキャストホイール仕様、スポーク仕様、RX80 Specialの3機種ともニューールビーレッドとヤマハブラックの2カラーです。

NEW RX50 Special



- ニューールビーレッド
- ヤマハブラック

NEW RX80 Special



- ニューールビーレッド
- ヤマハブラック

水冷、Vツイン、スーパースポーツ XZ400

リムに…… XZ400は、まさに異次元のスーパースポーツ。'82年スポーツ市場を独走する、衝撃のミドルランナー！



- 国内モデルでは初のアルミ鍛造ハンドル。ハンドルクラウン部には、コーションランプ類をインテグレート。
- 400cc では初のピックアップにすぐれた電気式タコメーター
- 扱いやすい左手元式チョークレバー
- 60W/55Wの角型ハロゲンヘッドランプ
- 17ℓと大容量のビッグフェイェルタンク

- 電動ファン付アルミラジエター。メインスイッチを切っても一定温度以上水温が上がっているとファンは回わりつづける。
- すぐれたハンドリング性能を実現したトレーリングアクスル型フロントフォーク。



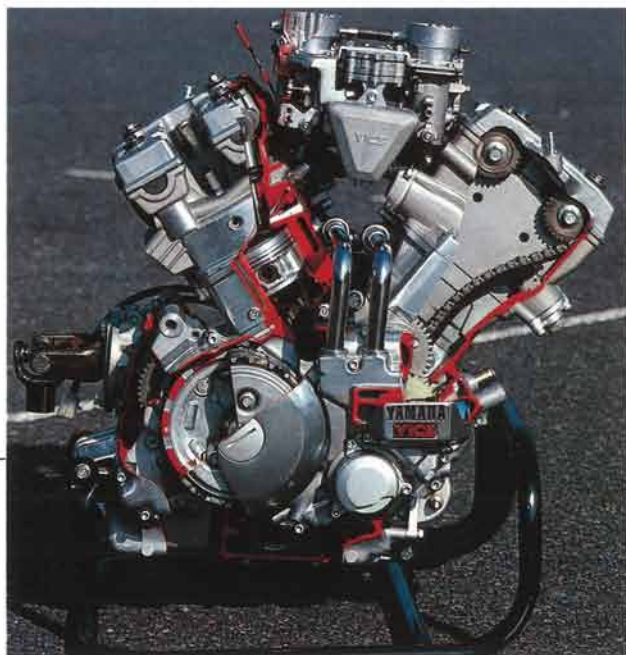
●ニューヤマハブラック



●ブリリアントレッド

- キャストホイールにダイレクトマウントしてバネ下重量を軽減したブレーキディスク。さらにパッドには、セミメタルを採用して stopping パワーをアップ。

- 90/90-18、51Sの偏平フロントタイヤ



- 新開発の70度、インラインVツインエンジンは、水冷、DOHC、4バルブのハイメカニズムを採用、毎分10000回転で45馬力の最高出力を発揮。
- Vツインでは初のY.I.C.S.を装備してハイパワーと低燃費を両立。
- ヤマハ特許の一軸3ウェイトバランサーで振動とメカニカルノイズを低減。
- 電子進角式フルトランジスタ点火。

- スーパースポーツ・ポジションの要となるバックステップ

<XZ400仕様諸元>

●全長2145mm ●全幅750mm ●全高1090mm ●軸間距離1445mm ●最低地上高135mm ●シート高780mm ●乾燥重量189kg
 ●舗装平坦路燃費43km/ℓ(60km/h) ●登坂能力28度 ●最小回転半径2.7m
 ●4サイクル・水冷V型・横置2気筒・DOHC・4バルブ・398ccエンジン ●内径×行程73mm×47.6mm ●圧縮比10.5 ●最高出力45PS/10000r.p.m. ●最大トルク3.4kg-m/9000r.p.m. ●始動方式セルスターター
 ●潤滑方式ウェットサンプ ●オイル容量3.4ℓ ●キャブレター型式BD34 ●燃料タンク容量17ℓ ●点火方式フルトランジスタ ●変速機リターン式5段 ●変速比①2.866②1.950③1.476④1.185⑤1.000
 ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)機械式ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)モノクロス・サスペンション ●緩衝装置(前)エア+オイル+コイルスプリング(後)オイル+コイルスプリング ●フレーム型式パイプ・バックボーン ●キャスト26"20" ●トレール116mm ●タイヤサイズ(前)90/90-18(後)110/90-18 ●駆動方式シャフトドライブ

走り、鮮烈。

DOHC、4バルブのハイメカニズムが、まったく新しいVフィーリングをつくり出した。しかもシルエットは、あくまでもス

- 新設計のパイプ・バックボーンフレーム
- スリムなシートは、780mmという低さで足着性も抜群
- 新方式のモールドタイプ・グラブバー
- リヤカウルにインテグレートしたテールランプ。バルブは2球式。
- 角型フラッシャーランプはフレキシブルステー式

- シャープなスロットルレスポンスをもたらす加速ポンプ付のダウンドラフト型キャブレター



ヤマハテストコースを疾駆するXZ(写真はXZ550)

- モノクロス・サスペンションも400ccの4サイクルモデルとしては初めてのもの。
- インラインVツインならではの49度と大きなバンク角を生み出したステップアップマフラー
- ロードホールディングにすぐれた110/90-18、61Sの扁平チューブレスタイヤ。
- 漸新なニューデザインのキャストホイール
- ミドル軸を廃し、ドライブ軸にベベルギヤを取付けた3軸式シャフトドライブをヤマハ400ccとして初採用。

- クリスタルシルバー



RZもイメージ一新!

2サイクル・スーパースポーツ R Z 250/350 の'82年モデルもニューグラフィックでイメージを一新して新登場。250、350ともホワイトとブラックの2カラーです。

NEW RZ250

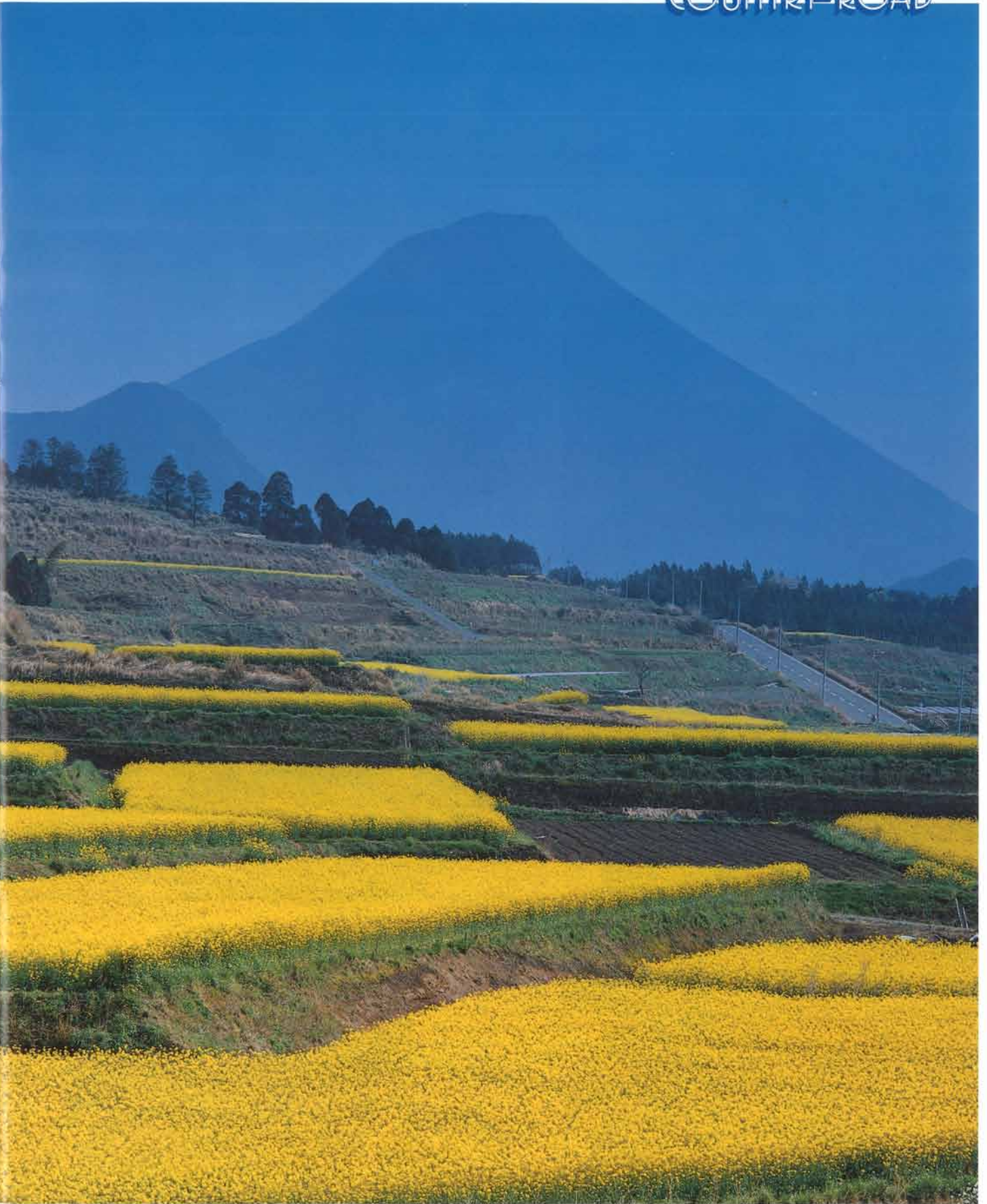
- ニューパールホワイト ●ニューヤマハブラック



NEW RZ350

- ニューパールホワイト ●ニューヤマハブラック





夢見る八ヶ岳のカウボーイ

松山 猛(エッセイスト)

ジュネーヴで見た風景は、まことに微笑ましいものだった。レマン湖に沿って作られた市の中心街に、路面電車の走る繁華街リュ・バスという街がある。その電車通りは、コン

フェデラシオン通り、マルシェ通り、クロウ・ドール通り、リブ通りと名を変えつつ、ジュネーヴ市内を東西につらぬいているのだ。そのリヴ通りにアメリカ渡りのマクドナルド・バーガーのショッ

プがある。ジュネーヴの若い子たちは、その店の前に大量のモペットやバイク、そして車を乗りつけて、アメリカン・グラフィティにっこに熱中しているのだった。アメリカ風俗に右にならえというのは、特別に我が国だけの現象ではない。世界中が常にないものねだりの現象に犯されているのである。逆にアメリカではイタリ

アの時代には、バイクは悪者にされるのが多かった。だが、今は本来的にも孤独な感情のほずなのだ。孤独な走り愛せる、精神的な余裕を持つてバイクと接することのできる年齢というものがあ

ド・バーガーのショップがある。ジュネーヴの若い子たちは、その店の前に大量のモペットやバイク、そして車を乗りつけて、アメリカン・グラフィティにっこに熱中しているのだった。アメリカ風俗に右にならえというのは、特別に我が国だけの現象ではない。世界中が常にないものねだりの現象に犯されているのである。逆にアメリカではイタリ

アの時代には、バイクは悪者にされるのが多かった。だが、今は本来的にも孤独な感情のほずなのだ。孤独な走り愛せる、精神的な余裕を持つてバイクと接することのできる年齢というものがあ

ド・バーガーのショップがある。ジュネーヴの若い子たちは、その店の前に大量のモペットやバイク、そして車を乗りつけて、アメリカン・グラフィティにっこに熱中しているのだった。アメリカ風俗に右にならえというのは、特別に我が国だけの現象ではない。世界中が常にないものねだりの現象に犯されているのである。逆にアメリカではイタリ

アの時代には、バイクは悪者にされるのが多かった。だが、今は本来的にも孤独な感情のほずなのだ。孤独な走り愛せる、精神的な余裕を持つてバイクと接することのできる年齢というものがあ

ド・バーガーのショップがある。ジュネーヴの若い子たちは、その店の前に大量のモペットやバイク、そして車を乗りつけて、アメリカン・グラフィティにっこに熱中しているのだった。アメリカ風俗に右にならえというのは、特別に我が国だけの現象ではない。世界中が常にないものねだりの現象に犯されているのである。逆にアメリカではイタリ

アの時代には、バイクは悪者にされるのが多かった。だが、今は本来的にも孤独な感情のほずなのだ。孤独な走り愛せる、精神的な余裕を持つてバイクと接することのできる年齢というものがあ

ド・バーガーのショップがある。ジュネーヴの若い子たちは、その店の前に大量のモペットやバイク、そして車を乗りつけて、アメリカン・グラフィティにっこに熱中しているのだった。アメリカ風俗に右にならえというのは、特別に我が国だけの現象ではない。世界中が常にないものねだりの現象に犯されているのである。逆にアメリカではイタリ

アの時代には、バイクは悪者にされるのが多かった。だが、今は本来的にも孤独な感情のほずなのだ。孤独な走り愛せる、精神的な余裕を持つてバイクと接することのできる年齢というものがあ



まつやま・たけし 35歳 趣味がことごとく仕事になってしまう氏にとって、いま本当に趣味と呼べるのは写真とか。10代後半のバイク体験は、信州への移住をさらにあおっているという。

ま

ま

チャレンジは限りなく。

'82年ヤマハレース活動計画



春3月、待望のモータースポーツシーズンの開幕。
'82年もヤマハは、世界の主要シリーズ戦に積極的に参加し、活発なレース活動を展開してまいります。
世界中のファンに数かずの話題を提供し、あわせて先進技術の開発に大きな役割を果たすレース活動。
'82年ヤマハの果敢なチャレンジに、ご声援よろしくおねがいいたします。

●先進技術の開発に直結するレース活動

モータースポーツのヤマハが、レース活動に対して一貫して持ちつづけているポリシーは「モータースポーツの普及振興とモーターサイクルをはじめとするさまざまな商品の技術革新」として、レース参加は不可欠の活動であるというものです。

そして、こうした活動は、頂点としてのファクトリーの活動が世界各国で健全なモータースポーツの普及拡大の推進力となっていること。一方、技術革新の面でも、相ついでデビューするヤマハのニューモデル群に、このレース活動から生み出され鍛え抜かれた技術が大小無数のフィードバックされ、それらがいずれも圧倒的な市場評価を集めていることからその役割の大きさが立証されているといえるものです。

●内外の主要レースに世界の強豪が挑戦

こうして展開されているヤマハのレース活動は、モトクロス、ロードレースの両部門を中心に'81年も輝やかなしい成果を収めました。挑戦1年目にしてみごとワールドチャンピオンの栄冠を勝ちとった250cc級世界選手権モトクロスのネール・ハドソンとYZMZ50。またAMAナショナル・モトクロマシリーズ500cc級で初のウイナーとなったブ

ロック・グロバーとYZMZ500。
ロードレースでも、世界GPサイドカークラスでのメーカー選手権の獲得。全日本選手権シリーズ国際A級500ccクラスでの木下恵司とTZ500のチャンピオン獲得などはいずれもファンの記憶に新しいところ。

こうした、かずかずの実績をもとに展開される'82年のレース活動。そのライダー構成と出場シリーズ戦は以下のとおりですが、中でも世界中のファンの注目を集めているのは、'78年以来3年連続ワールドチャンピオンに輝く、キング・ケニー・ロバーツとYZZR500による世界選手権ロードレース500ccクラスでのタイトル奪還への挑戦ぶりでしょう。この注目のシリーズには、ケニーの他にバリー・シーン、マルク・フォンタンなどの有望選手がエントリーします。

一方、モトクロスでは250cc級世界チャンピオンN・ハドソンが500cc級に挑戦、3年目のハカン・カルキビストと強力コンビを組むことから、250cc級には代わってアメリカのダニー・ラポルテが出場します。さらに、アメリカでは昨年のナショナル500cc級チャンピオンB・グロバー他4名が、ナショナルモトクロスとスーパークロスの両シリーズにエントリーいたします。

全日本選手権ロードレース



木下 恵司



高井幾次郎



金谷 秀夫

全日本モトクロス



吉原 朋正



竹沢 正治



鈴木 秀明



藤 秀信



光安 鉄美

'82ヤマハライダーと参加シリーズ

海外レース

▼ロードレース部門

ケニー・ロバーツ (アメリカ)
バリー・シーン (イギリス)
マルク・フォンタン (フランス)

グレアム・クロスビー (ニュージーランド)
この4名が世界選手権500ccクラスに出場。チャンピオン奪還をめざすケニー・ロバーツはヤマハ発動機契約、英国の国民的英雄。サー・バリー・シーンがヤマハモーターN.V.、フランスのマルク・フォンタンはソニーヤマハからの参加。グレアム・クロスビーはイタリアのアゴスティーニ・マルボロチームから出場します。

MOTOR SPORTS HIGHLIGHT

世界選手権ロードレース



ケニー・ロバーツ バリー・シーン



マルク・フォンタン グレアム・クロスビー

世界選手権モトクロス



マルク・バルケニヤス ジャッキー・ピモンド ディープ・ワトソン



ダニー・ラポルテ ネール・ハドソン ハカン・カルキビスト

AMAモトクロスシリーズ



ボブ・ハナ ブロック・グローバー



スコット・バーンウォース マイク・ベル

1982 レーシング カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全日本選手権	ロードレース	28 鈴鹿	14 鈴鹿(2&4) 28 筑波	25 鈴鹿	16 SUGO	13 鈴鹿(200km) 27 筑波		8 筑波 29 SUGO	12 鈴鹿(日本GP)		
	モトクロス		20-21 関東	3-4 西日本 17-18 生駒	15-16 鈴鹿 29-30 SUGO	12-13 四国	10-11 札幌		4-5 弘前 18-19 九州	2-3 関東 16-17 鈴鹿GP	
	トライアル	14 関西	7 中部 21 九州	11 四国	9 関東	20 東北			19 北陸		7 日本GP
世界選手権	ロードレース		28 アルゼンチン								
	125cc モトクロス		28 オランダ	4 ベルギー 25 オーストリア	2 イタリア 9 ユーゴスラビア	6 スイス 20 チェコスロバキア	4 フランス 11 西ドイツ 25 フィンランド	1 イギリス 8 スウェーデン 15 フィンランド 29 チェコスロバキア	5 サンマリノ 26 西ドイツ		
	250cc モトクロス			18 スイス 25 スペイン	9 ベルギー 16 チェコスロバキア 23 ポーランド	6 フランス 13 イギリス	4 オランダ 18 ソ連	1 USA 22 フィンランド 29 スウェーデン			
500cc モトクロス			25 フランス	2 オランダ 9 スウェーデン 16 フィンランド 23 オーストリア	6 西ドイツ 13 イタリア 20 USA 27 カナダ	4 イギリス	1 ベルギー 8 ルクセンブルグ				
USAモトクロス	スーパークロス	30 アナハイム	13 シアトル 14 シアトル 27 アトランタ	6 デイトナ 19 ヒューストン 20 ヒューストン	24 ボンティアック 25 ボンティアック	8 カンサシティ	17 ロサンゼルス 24 チャーロット				
	ナショナル 125cc			28 ハングタウン	4 サドルバック 18 レイクホイトニー	2 セントペテルスブルグ	27 ビンガムトン	4 ブキャナン	15 ウォッシュュガル 22 カールスバット		
	ナショナル 250cc			28 ハングタウン	4 サドルバック 18 レイクホイトニー	2 セントペテルスブルグ 16 サウスウィック 30 エムエフモーリス	6 アトランタ 13 カストルロック				
ナショナル 500cc					16 サウスウィック 30 エムエフモーリス	6 アトランタ 13 カストルロック 27 ビンガムトン	4 ブキャナン	15 ウォッシュュガル 22 カールスバット			

▼モトクロス部門

マルク・バルケニヤス(ベルギー)
ジャッキー・ピモンド(フランス)
1-2, 5 cc 世界選手権シリーズに出場

ディープ・ワトソン(イギリス)
ダニー・ラポルテ(アメリカ)
2, 5, 0 cc 世界選手権シリーズに出場

ネール・ハドソン(イギリス)
ハカン・カルキビスト(スウェーデン)
5, 0, 0 cc 世界選手権シリーズに出場

6名のライダーは、すべてヨーロッパの現
地法人ヤマハモーター・N.V.の契約ライダー。

▲AMAモトクロスシリーズ

ボブ・ハナ ナショナル125cc、
スーパークロス

ブロック・グローバー ナショナル2
スコット・バーンウォース 500cc、スー
パークロス

マイク・ベル ナショナル500cc
スーパークロス

アメリカのAMAシリーズに出場する4名
は、いずれもアメリカの現地法人ヤマハモ
ーターUSAの契約です。

国内レース

▼ロードレース部門

②金谷秀夫

③高井幾次郎 全日本選手権シリーズ

①木下恵司

金谷、高井のわが国最強ペアに、チャンピ
オン木下とおなじみのチーム編成。

▼モトクロス部門

②1藤 秀信 全日本選手権シリーズ

⑥鈴木秀明 125ccクラス

⑧竹沢正治

⑤光安鉄美 全日本選手権シリーズ

⑩吉原明正 250ccクラス

クラス登録制の国際A級125ccには藤、
鈴木、竹沢の3名。250ccは光安、吉原の
2名でフル出場します。

▼トライアル部門

⑥加藤文博 全日本選手権シリーズ

※数字は、いずれも新ゼッケンナンバー。



中部地方は濃尾平野の北端部に位置する岐阜県は、人口約195万人、主な産業には繊維、陶器、林業、観光などがあります。

また愛知、三重、滋賀、福井、石川、富山、長野と7つの県に隣接し、古くから名古屋、京都、大阪や、裏日本への流通の要として発展して

きた土地でもあります。

このような地理的条件のためか、同じ県内でも地域によって、かなり異なった言葉と文化をもっています。

関ヶ原、大垣など西濃地方は関西に近い文化と言葉を。また、多治見や土岐などの東濃地方では名古屋の影響が強いというわけです。この他

「古き皮袋に新しい酒を、ローカル市場を活気づける若い感覚のアプローチ！」

50年のノレンに若さをプラス これからはスポーツユーザーの拡大を！ 堀尾商会 / 堀尾義治社長

愛知県との県境に近い各務原市の「堀尾商会」さんは堀尾義治社長と二代目明宣氏によって営まれる、創業50年の老舗です。

ビッグバイクの販売と修理・アフターサービスを主な仕事としている明宣氏と、古くから地元のお客さまと親しいお付き合いをされている義治社長とのコンビネーションにより下は16才から上は78才まで幅広いユーザー

層を持っています。

この「堀尾商会」さんで、現在もとても効果をあげている販促策のひとつに展示会があります。これは名古屋のベッドタウンとして人口が急増している各務原市の中心にあるスーパーマーケットを会場に2か月に1回のペースで開かれているもので、婦人層を中心に、1回15台以上の販売実績を誇っています。

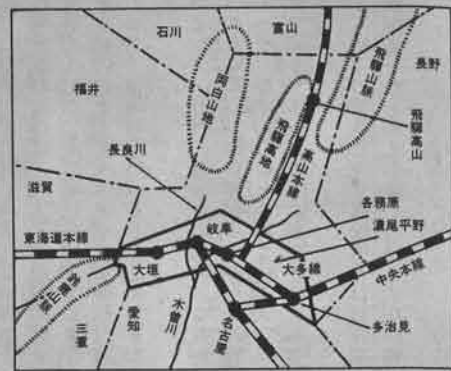


←左から堀尾社長と2代目の明宣氏、奥さま富美子さん

↓創業50年を誇る堀尾商会さん
店舗面積40坪、展示台数約30台



各務原市鵜沼南町



にも飛騨高山などの山地文化など、さまざまな古い文化と気風を持っているのが岐阜県。

このような市場のなかで、現在のバイク普及率は約33%。いま県内各地の販売店さんでは古くからの販売を脱皮し、ひとりでも多くの新規需要を開拓しようと、新しい感覚を取り入れたご商売をめざして、若い世代へのパトナッチがすすんでいます。

「ヤマハ名古屋(株)岐阜営業所・深沢光博所長」

また、堀尾さんは家族全員が大のヤマハ党というだけあって、一年の最後12月には必ず「今年もヤマハでありかとう」セールを開催します。クリスマスケーキのプレゼントや無料点検などが盛り込まれたこのキャンペーンは、ユニークなキャッチフレーズとともに、いまでは完全に地元に着したのものとなっています。

この恒例セールとともに、現在、明宣氏の企画で進められているのがステッカーの配布。「これからは大型バイクを売っていきいたい」と語るだけあって、ステッカーのデザインに

も細かい心配りが見られます。店名をあまり意識させるものはヤングユーザーにきらわれるからと、「バイクロード」と横文字で大きく書いたステッカー。これを見ただけで「堀尾商会」ということがすぐに頭にうかぶようなユニークなものです。この他にも、名前と住所がわかるキーホルダーなど若い感覚にあふれたオリジナリティがいっぱい。

このように「堀尾商会」さん50年の歴史は、いま二代目・明宣氏の若さいっぱいを感じる、そのカラーを大きく塗りかえようとしているところだ。

二代目社長の差別化戦略でビッグバイクユーザーを増大!

マルミヤサイクルセンター／宮嶋文雄社長

多治見市宮前町

窓き物の町多治見市の中心街・駅前通り沿いにある「マルミヤサイクルセンター」さんでも、個性を打ち出す商売をテーマに二代目・一治氏による積極的な商売が展開されています。

そのひとつが展示会。展示会といっても、スクーターやソフトバイクを主体とした一般的なものとは、かなり異なっています。重量車をメインにご商売をしていきたいという一治氏は、「大型車に乗るお客さまにこそ、さわ

らせて、エンジンの音を聞かせてあげたい」という発想から、大型車の展示、試乗会を年間3〜4回のペースで開催しているのです。1回の展示会で平均5、6台の実販があり、今まで「見て、選ぶ」ことしかできなかった大型車のお客さまに好評です。

またこれら大型車に乗るお客さまのために、お店のとなりに用品コーナーも開店しました。バイク用品専門店の少ない多治見市で、ヘルメットやウェアはもちろんアタセサリーま



↑マルミヤサイクルセンターさんの店舗隣りに開店した同店用品コーナーはいまヤングたちの話題。本店舗は面積30坪に、20台のバイクが展示されている。



←宮嶋社長(左)と二代目一治氏

ラジオPRから万全のアフターサービスまで計画的な態勢づくりの成果が活きる!

オートサイクル広瀬／広瀬正雄社長

大垣市東外側町

西濃地方の中心地・大垣市のメインストリートで、ヤングユーザーの開拓にひときり大きな意気込みをしめているのが「オートサ

イクル広瀬」の広瀬正雄社長です。まずヤングにアピールするために、なんといっても欠かせないのはお店の知名度。この

で揃えたこの用品コーナーは地元ライダーの大きな人気を集めています。

この用品コーナーとは別に、もうひとつの個性を打出す「活動として、安全運転推進活動」があります。

「バイクの運転は、乗る人の人間性の一部」と考える一治氏は、お店のツーリングクラブ

「あーる・にいよんば」のメンバーにも「いつも目的意識を持って走って欲しい」と安全思想を徹底させていますが、このクラブ活動以外でもお店をコミュニケーションの場として集まってくる若いお客さまに、親身になったアドバイスを展開し、信頼を集めているのです。



スタッフのチームワークもガッチリのオートセンター広瀬さん。店舗面積20坪、展示台数50台。写真左から広瀬社長、サービスの安藤さん、筒井さん、伊藤さん、奥さま由起子さん



→ 店内にも若いお客さまの姿が絶えないオートセンター広瀬さん

BGMの流れる明るい店内は、お客さまのためのスペース！

岐阜市茜部大野

国道22号線バイパスから岐阜市街に向かう県道沿いを走ると広い展示スペースを持った「岐阜カワサキ」さんが目にとび込んできます。バイク好きがこうじて販売店さんになったという岡坂社長は、「気軽に入って、気軽にバイクを選べる店」を開店頭初よりの店づくりの目標としています。

店内に入って最初に気がつくのは快い音楽が流れていること。岡坂社長は、店内にいつもBGMを流すことによって、油ツ気のないバイク販売店の雰囲気少しでも和らげようとしているのです。

また、入口を入ると「どうぞごゆっくりご覧ください」のビラ、店内の雰囲気に対する細かい心づかいがうかがえますが、これが女

性層やスクーター需要の多いお店ではなく、売り上げの95%はスポーツバイクというのですからいささか驚き。そういえば、店内の用品コーナーも豊富な品ぞろえて、お客さまのほとんどがバイクと一緒に、ここでヘルメットやウェアを購入されていくといいます。

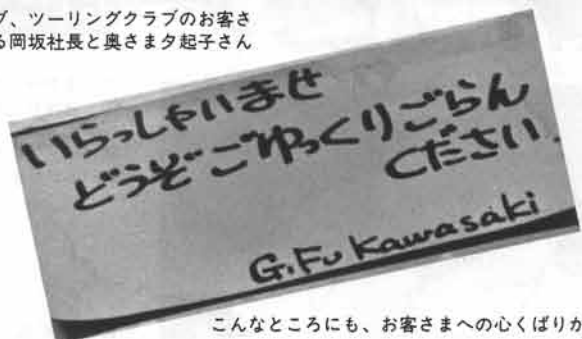
スポーツバイクのお客さまを対象にした、こうしたお店づくりは「店内はお客さまのためのスペース」という岡坂社長の考えによるもの。こうした店内の明るく開放的な雰囲気は、惹かれて集まってくるお客さまたちのツーリングクラブも結成されていますが、毎月発行されるクラブニュース以上に、このBGMの流れる明るいお店は、格好の情報交換の場となっているのです。

知名度を高めるため「オートサイクル広瀬」さんでは、ラジオ「岐阜放送」を使っている継続的なPR活動を行っています。当然、このラジオCMで来店したお客さまが次に要求されるのは、充実したお店のサービス態勢。この点でも広瀬社長はすでに3年も前からお店のサービススタッフを増強。技術サービスに万全の態勢づくりを進めてきたのです。

このように、計画的なお店の態勢づくりがあったからこそ、三不運動のきびしい岐阜県にあって、むずかしいとされている大学生ユーザーも多く確保することができているのです。また、31才の若さで安全運転指導員の西濃地区支部長をつとめる広瀬社長は、大垣競輪



モトクロスクラブ、ツーリングクラブのお客さまの信頼を集める岡坂社長と奥さま夕起子さん



こんなところにも、お客さまへの心くばりが

用品コーナーを新設したいが 最も手軽で効果的な演出方法は？

●店の総合的な収益アップのために、用品販売に積極的に取り組もうと思います。

●その手始めとして店内に用品コーナーを設けたいのですが、次のような条件の中で、手軽なコーナー設置方法、効果的な演出方法、大まかな経費などを教えてください。

●店内スペースは10坪。現在は展示車がびっしりと並んでいます。

●主力商品はスクーター。顧客は男性6割、女性4割というところです。

●壁面利用の用品棚だけでなく、もっと積極的に本体と用品のコーディネートを出し行きたいと思っています。

●お客さまのライフスタイルが変わってきたいま、コーディネート販売は、まさに時代のニーズです。収益アップだけでなく、お店のイメージアップ（品揃えが豊富、楽しい生活提案がある）になり、将来的にも大きなプラスになりますから、ぜひ積極的に取り組んでください。

●あなたのご質問以外にも用品コーナーを設

置するうえでの留意点がありますので、順次ご説明、お答えしていきます。また、答えの一つとして、左のようなモデルプランを設定してみましたので、ご参照ください。（なお、プランでは修理スペースを省いています）

●まずお店のコンセプトを明確に
コンセプトとは「概念」。いわばお店の経営理念です。どんな顧客を対象に、どんなイメージのお店にするのかを明確にして、用品コーナーづくりに反映させてください。

●なお、現在は男性客が6割とありますが、スクーターの需要傾向からみて、女性を主対象に潜在需要の掘り起こし、客数増大を狙うべきでしょう。ファッションナブルで華やかなお店は、男性にも歓迎されます。

●広さや数量より「見せ方」が大切
お店全体の平面図をわいてレイアウトしてみましよう（できるだけ正確に）。

●2坪あれば用品の総合展示が可能です。
●店外からもよく見える場所に設置を。
●通路幅は最低90cm。入口からスムーズに店内を一巡できるようにレイアウトを。
●本体の店内展示も、余裕をもって配置した方が、見せる効果が高まります。

●用品陳列はヤマハの店舗備品で
用品は形や大きさが不ぞろいで、決して展示しやすい商品とは言えません。その点、ヤマハの店舗備品なら、専用に開発されているため、すっきりと効果的に展示できます。
●種類も豊富ですので、スペース、お店のイメージ、扱い商品に合わせて選んでください。

（詳細は「新・店舗備品カタログ」参照）

●小スペースでもショーイングを
本体と用品とのコーディネートを明快に表現できるのがショーイングです。

●オプションをフル装備した本体を中心に、関連用品を周囲に展示します。

●マネキン、演出小物（レジヤ、スポーツ用品など）、スポットライトで効果アップを。
●モデルプランではショーイング用備品としてサリアンスポット（※）を使用しています。

※スチールネットと人工芝生の組合せで、簡単に、しかも効果的にショーイングができる備品です。A（ネット2枚組）とB（同一枚）の2種類があり、他の車種、用品にも使用できます。

●お店全体のイメージ統一を
用品コーナーだけでなく、お店全体としてのイメージアップを心がけてください。

●古い店舗物、時期はずれの店舗物の一掃を、
●店内外の清掃、整理整頓の徹底を。
●店内を明るく。（照明器具のチェックを）
●ショーイングを中心に本体も用品も、備品も店舗物も、お店のすべてが一つのイメージに統一されること、そしてスクーターのある生活のすばらしさが明快に表現されることで、用品コーナー設置→コーディネート展示の効果をもっと高めることができます。

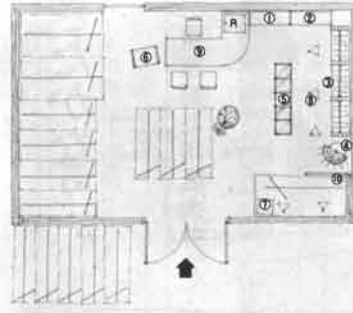
●なお、ヤマハではこのような店づくりに関する販売店さまのご相談受付窓口として「店舗診断システム」を開設。Aコース（通信診断・2万円）とBコース（出向診断・8万円）の2コースで個別のご相談に応じています。担当セールスマンまたは本社・営業部・部品営業課までお問合せください。

■2坪の用品コーナー〈モデルプラン〉 店内スペース10坪



●使用店舗備品と価格

- ①純正ストック棚 ¥42,000、木製商品棚B型 ¥11,500
- ②木製商品棚A型 ¥18,500、同B型 ¥11,500
- ③ディスプレイハンガーシステム ¥170,000
- ④スパイラルハンガー ¥14,000
- ⑤パイプユニット標準タイプ ¥96,670
- ⑥オイルスタンド ¥22,000
- ⑦S型ユニット ¥9,000
- ⑧スポットライト ¥13,000 × 5台
- ⑨マルチカウンターシステム カウンターユニットI ¥99,500、カウンターユニットII ¥79,500、回転イス ¥21,500
- ⑩サリアンスポットA ¥25,000、B ¥15,000



《回答者》

一級建築士 中本 悦良
インテリアデザイナー 石川美世子

私の接客心得

「お店での奥さまの仕事は？」と伺うと「来店されたお客さまのお相手です」という答がとて多いですね。「接客」といわれるお仕事です。でも考えてみれば、初めて来店されたお客さまにお店のイメージを

植えつけるのも、購入決定を左右するのも、この最初の接客の良し悪し。となればもつともつと深く考えてみたいもの。さて、お店の「接客ぶり」お客さまの評判はいかがですか？

「ちょっと慣れ慣れしすぎたかな？」——と思うことも。

接客って難しいですね。

橋内 優子さま MAC(マック)橋内 誠(社長)東京都品川区大井3-27-7



●接客の中で一番意識されているのは？

店に出てまだ1年目ですが「私は商売人なんだ」という自覚を忘れずにやっています。最初はお客さまが来られても尻ごみして、なかなか積極的に出られなかったところもありましたが、1年間主人によく教えてもらい、今ではだいぶ慣れました。

それと、お客さま相手の商売である以上、これもひとつのサービス業と考えて頑張っているんです。

●接客に役立つ情報収集は？

ポパイやJ.J.なんて若い人向けの雑誌をとめて読んでいます。うちのお客さまは、とくに若い人が多く、中には毎日お店に顔を出してくれる方もいます。そんな方とのコミュニケーションの新鮮さを保つためにも、いろいろな情報をつかんでおくことは大切ですよ。私もまだ、若いですからね(笑)。また、お客さまと一緒にワイワイやるのも好き。これも大切な情報収集ですね。

●展示商品と接客の関係は？

それは大切なことですね。今、展示の中心の一台はXT250ですが、実際これにまたがってもらったり、スタンディングフォームを教えてあげたり、林道コースの話なんかもするんです。というも、例えばオンロードマシンばかりに乗っているお客さまは、意外と林道ツーリングの楽しさや、その遊び方を知らないんですね。そんなお客さまとの会

話の中に、刺激となる展示商品の演出は、接客やセールストークに欠かせない材料なんです。

●接客で一番難しいことは?

一言で「接客」といっても、大変気を使うことがありますね。お客さまと話をしている、自分では知らない間に相手をキズつけているんじゃないかな、と思うこともありませぬ。ちょっと慣れ慣れしくしすぎかな、なんて思うこともありませぬ。その辺がやはり難しいところでしょうか。

●接客の中での今後の抱負は?

月1回定例化している「MACセフティツリーング・クラブ」のツーリングが楽しみなんです。これへの参加が商売や接客に大いに役立っていますね。やはり自分自身が乗っていると、お客さまの立場も理解できるし、来店するお客さまが何を求めているのかもだいぶわかります。私? SR400です。

☆☆☆☆

お客さまを退屈させない!

これが接客の原点です。

小川美登里さま

北海道松山郡

サイクルショップ小川(小川信一社長)

土地柄、具体的な商談となるとうしては主人でなければダメ、というお客さまが多く、そこで私は来店したお客さまを決して退屈させないよう、コーヒー、お茶のサービスはもちろん、世間話からバイクの話に至るまで、とにかく楽しく過してもらっています。

この春にはファミリーバイクでのミニツーリングを企画し、お客さまとの交流を深めようと考えています。もう全力投球の毎日です。

電話も大切な信頼のきずな。

迷っている人にはぜひ乗ってもらおう

阿部みんさま

岩手県花巻市



阿部吉輪店(阿部吉雄社長)

うちのお客さまの半数以上を占める奥さま層は、兼業農家の方がほとんど。ですから多忙な方が多く、おちついた接客や会話ができないのが実情です。

そんな中で、電話で問い合わせるお客さまが多いのもうちの特徴。そうしたお客さまに対して、その電話の中で詳しく新車の情報や商品説明を行なって、これを売約に結びつけています。たかが電話で……なんて考えないで、電話での接客を大事にしています。また、迷っているお客さまには、ベルーガやキャロットなどを試乗してもらっています。

美容院へ行くのも私の接客!

川内正子さま

新潟県新潟市

有オダジマ輪店(川内武志社長)

学生さんのお客さまが多いのがうちの特徴。そんな中で、いつも笑顔で接し、お店も明るい雰囲気を作りたいようにしています。

また、お客さまのお話は、どんなことでも親身になって聞くようにしています。このことで、目つきで何を求めているのかも、最近読み取れるようになりましたね。そして、この人だ!と思ったら即座に見積りを書きます。

アツソうそう。若いお客さまが多いのでできるだけ若々しい服装にしています。定休日には、欠かさず美容院にも行きますね。

その場かぎりの接客ではダメ!

外岡待子さま

静岡県下田市

マスマヤモーターズ(外岡路隆社長)

お客さま一人ひとり個性があるのでしよう。ですから、その人に応じた接客をこころがけています。たとえば女性ならば、ファッションの話から始めてみたりして、できるだけコミュニケーションを取るようですね。そこで何を求めているのか早くキャッチすることが大切。心のつながりを大切に、その場かぎりの接客ではなくて、後々を考えた対応することですね。もちろん、この店で買って良かった、と言ってもらいたいですからね。

お店のエレクトーン演奏が自慢!

北脇妙子さま

兵庫県神戸市・オートショップ明石カワサキ

須磨支店(北脇正博社長)

オープン2年目のこの店で私の役割は、営業部長兼掃除兼乗方指導員。接客のポイントは、いつもニコニコ元気よく、です。まず、お客さまが来店されたら「いらっしゃい」と、どこにいても大きな声を出します。そして次に親しみをこめて「いかがですか?」と話しかける。なんといっても第一印象が大事ですからね。それから、うちの自慢がエレクトーン演奏。最初は私の気分転換にお店に置いたんですが、これが意外にも好評なんです。

パートでの買物からだって

勉強させられることがあります。

戸田十二代さま

岡山県岡山市・有戸田屋モーターズ(戸田康正社長)

接客について外から学ぶことって多いです

ね。たとえばパートですが、必要以上にお客さまにつきまとう点なんかは大変参考になります。お客さまのお考えも聞かずに一方的に商品を押しつけるなんてトンデモない。ですから、新規のお客さまがお店に来られた時は必要以上に気をつかいます。この方は何をもちめられているのかな、どんなことが聞きたいのかな、といったことを、お客さまとの会話の中でさぐり出す。それがピタリと当たった時は、すこく嬉しいですよ。

自由に店内を見てもらおう!

これも接客のキーポイント!

小野幸恵さま

愛媛県新居浜市

小野商会(小野浩次社長)

この地域では多くの女性が50ccバイクのユーザーで、今や自転車と同じくらいバイクも日常的な乗りもの。ですから最近のお客さまも、実物を見て、触って、そして買って行かれる方が多いようですよ。

そんな傾向を考慮して、お店での接客も、うるさく付きまとうず自由にお店の中の商品を見てもらうことに重点を置いています。お客さまの態度・視線から、何を欲しがっているのかを自然につかみとるように心がけています。

まず「いらっしゃいませ」と

明るくお客さまを迎えること。

斉藤光子さま

宮城県宮崎市

斉藤輪業(斉藤勝秀社長)

私がお店に出るようになって5年目。初めて自分で売った時の嬉しさは、今でも印象に残っていますね。その嬉しさを大切に、接客にのぞんでいます。

今、大切にしている事は、来店するお客さまに「いらっしゃいませ!」と喋って明るく迎えること。そんな明るい挨拶は、お客さまに気持ちよく自由に商品を見てもらえること、そしてお客さまとのコミュニケーションに、つながっていますね。

「バイク屋のオヤジさん」が本を出した。30年にわたる商売のなかで、出会ったエピソードや印象のかずかずを思うがままに綴った本を。そこには、一販売店さんのご商売の歴史ばかりでなく、日本のバイクそのものの歴史があった。それにもまして、バイクをこよなく愛する一ライダーの「バイクの市民権獲得」への情熱があった。いま、ライダーの間に静かに浸透する『バイク讃歌』の著者に、その熱い思いを語ってもらった――

『バイク讃歌』の著者が語る 市民権獲得への情熱

「それぞれの立場の人びとが、同時に力を合わせて積極的に安全問題に立向かわなければ……」

茂木モーターズ 茂木光男社長（東京都練馬区練馬3-23-1）



『バイク讃歌』（茂木光男著）
発行所／PMC出版＝東京都千代田区飯田橋
4-4-5 ポンビアンハイツ ☎03-2
64-5774 定価／980円

「いま、ライダーは、けっして寡黙であってはならない。バイクという乗り物の素晴らしさを、自らの熱き想いを、誰かに伝えて欲しい」と、まえがきから熱いメッセージを送る茂木社長。このインタビュを開始するにあたって、まず冒頭で編集者は茂木社長に怒られるはめになった。というのも、氏は社長と呼ばれるのが嫌いだから。で、以後は社長にかわってオヤジさんという呼び方を使わせていただいたのだ。

バイクは恐ろしい乗り物だった。とはいえ、そのはかりしれないパワーには魅力があった。

●本にも書かれてありましたが、オヤジさんとバイクとの初めての出会いというのは、なんでもスクーターだったとか。「僕とバイクとの出会いは昭和22年、満15歳のときだったんですネ。いわゆる仙台の自転

車屋さんに丁稚奉公したわけですが、初めてのバイクというのがアメリカ兵が持ち込んできたスクーターの故障車。で、近所の自動車屋で見よう見まねで覚えたプラグ交換をしたところが、偶然にもエンジンがかかっちゃいました。アクセルを吹かしたとたんお向かいの家まで飛び込んだ。それからというもの、バイクは恐ろしい乗り物——という観念がでさちやっただけです」

●それがどうして、その後、東京にまで出て、バイクの修業に励むことに。

「突拍子もない。パワーを秘めたバイクはまた、一方で僕の心をトリコにしちゃったんですネ。それからというものは、アメリカ兵が修理に置いていくたびにコッソリ乗り回すように。そして、慣れるに従い、こんなに楽しい乗り物はない」と確信するに至ったんです。で、とうとうバイクを求めて上京することに。実際には、この時からすでに心の中ではバイクの将来に自分の未来を賭けていたんです」



新しいバイクショップが続々と生まれる中で頑固に古い商売を押し通すオヤジさんだが、若いスタッフのために支店の開設も計画中とか

ただ売ればいい！
その瞬間に儲ければいい！
という考えは絶対に許せなかった。

●東京に来て新宿のバイク店に勤められた後、その紹介で三鷹のお店に移り、ついには練馬の現在の地に自分のお店を持つまでに。実際にバイクのご商売にたずさわって、まずお感じになられたことは、どんなことでしたか。
「とにかく当時のバイクは高かった。とはいえずトランスポーターとしての価値も高まり、バイクを必要とする人たちが増え始めていた。そこで、僕がまず心に誓ったのが、いいものを売ろうということだったんです。せっかく大枚をはたいて購入したバイクが、すぐ故障して修理代がかかるようではお客さまに申し訳ない。そこで、耐久性があり、トラブルの少ないバイクを積極的に販売しようと考えたのです」



50歳を迎える前にヒゲを落としたと笑うオヤジさんの表情は、どうみても20代の若さがいっぱい

●その結論が2サイクル車を中心としたご商売ということに。
「そうです。第一次バイクブームのトランスポーター時代から、第二次バイクブームのスポーツバイク時代に移っても、なおかつ僕の商売は実用車一点張りだった。自分自身はもちろんスポーツバイクに興味があり、売りたいという気持ちがないでもなかったのですが、しかし店に集まるお客さまはまだ職人さんとか商店のオヤジさん連中で、せいじくができる人間ではなかった。そこで、もっぱら2サイクル車ばかりを扱う結果に。自分が高価なバイクをすんなり買えるような生活をしてこなかっただけに、お客さんに対してもお金をかけさせてはかわいそうだ、高くして気の毒だ、などと考えていたんです」

自分だけが楽しむのではなく
もっと多くの人びとに
バイクの楽しさを伝えなければ。

●二自身もライダーのひとり——という考えが、オヤジさんのご商売の根底に流れているようにも感じるんですが、このお仕事に対する心構えといったら、どんなことが

あるのでしょうか。

「なんといっても、僕の仕事の大部分はお客さんとのコミュニケーションですからね。ただバイクを売るだけでなく、むしろそれをキッカケとしてきた信頼関係を大切にしている。20歳未満の人には家族の同意書がなければ絶対に売らなかつたり、飛び込み客には周囲の人から意見を聞いたり、そのお客さんとしばらくつき合って知ってから売るとか。また、初めてバイクに乗るお客さんに対しては徹底的に乗り方をマスターしてもらうまでつき合うなどの方法をとっています」

●現在もお客さまを先頭として続けられているツーリング活動も、そのひとつであるわけですね。
「うちには過去2つのバイククラブがありましたが。そのひとつは職人さんが多かった時にできたクラブで、ロードマスター。そしてもうひとつが現在の郵便屋さんを主体として作られた、レッドアミーゴ。ツーリングは毎月第3日曜に計画され、年に1回は必ず区

の施設を借りて警察の協力のもとに安全運転講習会を開いています。私自身もツーリングには8割以上出かけていますが、なんといっても自慢は、過去一度も事故を起していないこと。こうした店とお客さんが一体となって、バイクの楽しさを多くの人びとに伝えることが僕の仕事だと考えているんです」

安全教育や交通問題にしても
みんなが互いに手をとり合って
バイクの将来を考えていくべき。

●安全講習会やツーリング活動もそうですが、お客さまへの安全運転教育の難しさについては各方面から言われ続けているように、かなりご苦労も多いのでは。
「いまの若い人たちは何も知らないですからね。教習所で一体何キロ出して走ったかわかりませんが、それですぐ借金してバイクを高

速で乗り回す。もっと彼らに勉強する機会を与えてあげなければいけないでしょうね。それと、日常のコミュニケーションの中で安全啓蒙もかなり重要といえます。お店でのお客

さんとの会話から安全運転の心構えを伝える努力が、我われ販売店には問われているのでしよう」

●本の中でも最後に触れていますが、オヤジさんを中心にお客さまの間で「二輪を考える会」という集まりが作られています。これもそうした日頃の活動の副産物といえますね。
「みなさん自分なりに安全問題についても、交通問題についても意識を持って集まったわけですが、みな自分だけのこととしてではなくライダー全体の問題として、いろんな事例に立ち向かっている。とにかく、自分だけの利害で動くのではなく、みんなが互いに手をとり合って、それぞれの立場でバイクの将来を考えていくべき時がいまなんです」

「僕には、ライダーと、バイク屋のオヤジという2つの顔がある。バイクの良さ悪しを語る時も、バイクの市民権獲得を論ずる時にも2つの立場が顔を出す。しかし、この異なる2つの立場は、けつして利害が反するわけではない。それどころか、理想的なディーラーのあり方を考えれば、バイク屋のオヤジたるもの、常にライダーの立場に立つて商品を売り、社会に発言していかなければならないのだと確信している。半年がかりで書きあげたオヤジさんの「バイク讃歌」。そのあとがきにあった一節が、いま



いまやオヤジさんの片腕として活躍する西山忠昭さんも、かくれたオヤジさんのファンのひとり

ヤマハ、2輪車技術を輸出 西独NHWと販売提携も

〔日刊工業新聞・2月10日〕

ヤマハ発動機は西独の大手二輪車メーカーNHW（ニュールンベルガー・ヘルクレス・ベルケ）社と技術および販売に関する業務提携を結ぶことで基本的に合意した。合意内容は①ヤマハがNHW社に80ccクラスの二輪車生産技術を提供②NHW社の販売網を通じて西独および近隣諸国にヤマハのスクーター「ペルーガ」を「ヘルクレス」ブランドで販売③NHW社の自転車「ヘルクレス」を日本国内でヤマハが販売する——というもの。具体的内容をさらに詰めたいと三月上旬にも調印に達する見通し。（中略）

今回の提携についてヤマハでは、日欧間の貿易アンバランスおよび二輪車輸入規制など経済摩擦が表面化しつつあることから先手を打って日欧の企業で協力関係を結ぶことになったとしている。

またヤマハではペルーガを初年度四、五千台輸出することにしており、NHW社は同製品をオーストリア、スイスでも販売することになるとみている。

印工社へ技術援助 ヤマハ100cc2輪車製造で

〔日刊工業新聞・2月23日〕

ヤマハ発動機はインドの二輪車およびトラクターのトップメーカー、エスコーツ社（ニューデリー市）と100ccオートバイの製造について技術援助契約を結んだ。

現在、インドの二輪車需要は、年間五十万台とされている。今後個人用輸送の有力な手段として一層の需要増が期待されている。

今回の工社に対する技術援助契約は、同国の二輪車国産化政策の推進に役立つとともにヤマハの国際化方針の一環をなすもの。

工社ではヤマハとの技術契約に基づき八十四年から生産を開始する方針で、生産する車

種は100ccのビジネスタイプ。初年度は年間十五万台の生産を予定している。

最高更新三百六万二千台に 56年（1月～12月）の 二輪車国内出荷 前年比で二九%も増大

〔二輪車新聞・1月29日〕

五十六年（1～12月）一カ年間の二輪車国内出荷台数は三百六万二千台に上り、ついに三〇〇万台ラインを突破する最高を記録した。七年前の五十年出荷（百二十九万九千台）に比べると、三倍近い市場に拡がったことになる。

車種別にみると、五〇cc以下が二、五九九、〇三六台、五一一二五ccが二二二、六七三台、一一六一二五ccが二〇七、一六四台、二五cc以上が一一三、二一六台で、五〇cc以下が八四・九%（前年同期八三・四%）に上伸、その比率は年々増大してきている。このように五十六年初めに業界四社が見込んだ二六〇万台程度の出荷予想は大きく崩れた。

予想外ともいえる三百六万二千台という嬉しい見込み違いとなった。五十七年は四社あわせて三百九十万台の計画をたてているところから、場合によっては四〇〇万台ラインをめぐる攻防になる二輪車市場となりそう。

復活したバイク 生活移動手段として人気

〔日刊自動車新聞・1月20日〕

二十年前に急成長をとげた人気商品が再び息をふき返し始めた。モーターバイク、スクーターである。一度、衰退した商品が、また復活し、成長商品になった例は過去にないできごと。

三十年代のバイクは銀行、商店などの生産活動によって支えられ成長商品となったが、最近のスクーター熱は、生活の移動手段になって活気を呼び戻しているだけに息が長い成長商品となりそう。

昨年、二輪車の国内出荷台数は三百万台の大台を超えた。五十五年が二百三十七万台であったのに比べ、実に七十万台に近いふえ方であり、五十三年の百九十八万台に対し、百

万台の出荷増をみている。その背景には、女性ドライバーの急進出があるが、一方で潜在的にモーターバイクに対する購入希望の高まりをあげられよう。

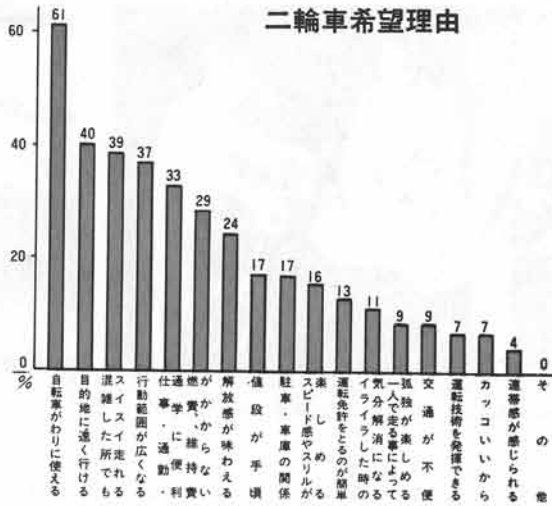
自工会調査によると、二輪車をまだ保有していないユーザー層で全体の三割に近い人たちが購入希望者であり、十九歳以下の年齢層で二人に一人が、高校生では五五%もの支持を受けている。（グラフ参照）

40馬力出る灯油併用船外機

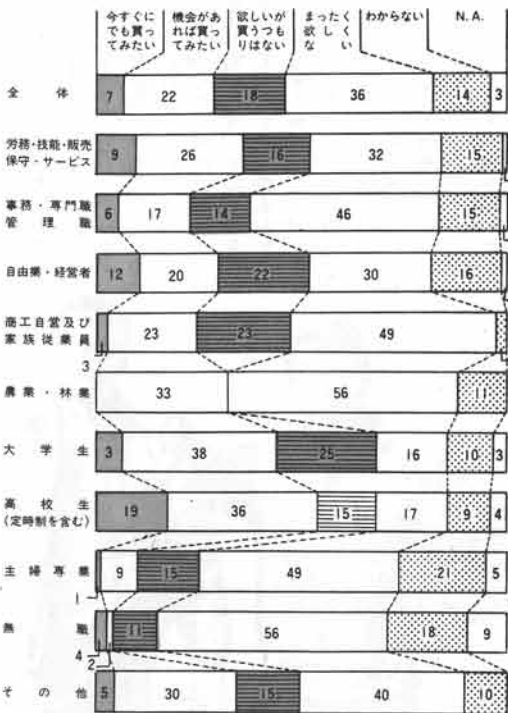
〔日刊工業新聞・1月29日〕

ヤマハ発動機は二十八日、大馬力で経済性に優れたガソリン・ケロシン（灯油）併用四十馬力のケロシン船外機を二月一日から発売すると発表した。

同社はケロシン船外機についてはすでに八馬力、十五馬力、二十六馬力をもっているため、今回は四機種目。主にレジャーや漁業向けを対象に売り込む方針。ケロシン船外機の場合、ガソリンに比べケロシンの価格が安く船外機使用時間が長いとエンジン回転数の多い場合は燃費がガソリンより三割から五割近く安くなるという。



二輪車の購入意向



カセットテープ進出 日本楽器製造

〈日本経済新聞・2月11日〉

日本楽器は、音楽録音用の高級カセットテープに進出することになり、二十一日「ヤマハカセットテープ」を発売する。一般音楽用、スタジオ用、オーディション用など目的別に四タイプ十二種あり、特にライブ録音に強いのが特徴という。標準販売価格は四十六分のもので四百五十七百五十円。初年度百万巻の販売を目標にしており、主に楽器店ルートを通じて売出す。

高速道通行料は不平等 二輪車ファン反発

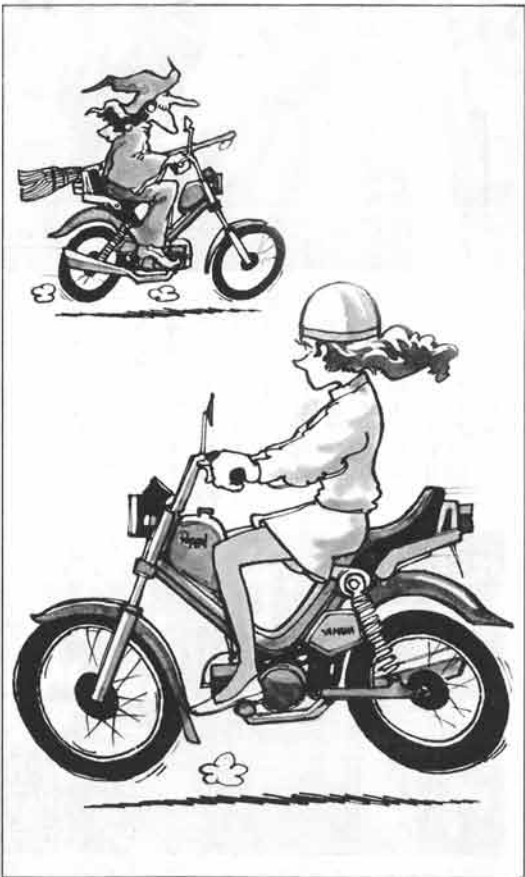
〈中日新聞・2月13日〉

生き方や趣味の多様化とともにオートバイの人数が高まりつつあるなかで、二輪車ファンから、道路通行料金の「不公平是正」を求める声が目立ってきた。

東名、関越など高速自動車国道や首都高速道路の通行料金には「二輪」の区分がないため、普通車扱いの二輪ドライバーは二十九人乗りのマイクローバスや四ノ積みトラックと同じ料金を支払わねばならない。(中略)二輪愛好家たちは、近く予想される道路公団の通行料金値上げを前に、オートバイへの「ゆえなき差別」撤廃へ向けて署名運動を進めている。(中略)

暴走族などとは無縁の、まじめなオートバイファンの同好会が、全国十七大学を集めて結成している「学生二輪クラブ連盟」はかねてからこうした矛盾の解消問題に取り組み、五十四年には道路公団や建設省に「質問状」を提出した。(中略)

中年ライダーの集まり「シルバー・ベガサス」(鎌倉市)の栗原隆守会長(五十)は「公団はお義理で通らせてやっている、といった少数派無視の態度で、許せない。最近は何問も増



えたし、このへんで二輪の権利を主張する一大運動を展開したい」と話しており、学二連はすでに昨年、行楽地で直接、署名を集めたり、全国のオートバイ販売店に署名用紙を送って協力を依頼したりする運動を始めています。

一方、メーカーの側でも通行料金の不合理を問題視する声が強く、日本自動車工業界の二輪車企画部会の話では、二輪・軽自動車を含めた車種間アンバランスは正など、料金の在り方について、なんらかの意見をまとめる動きがあるという。

根強い男女差別感 六割が仕事にやりがい 婦人労働者の意識調査

〈朝日新聞・2月7日〉

婦人労働者の多くは、いまの仕事をまあまあやりがいがあると思っている。反面、男女差別を強く感じており、生理休暇、産前・産後休暇も十分に取れないという。民間の主要単産でつくる政策推進労組会議は六日、「婦人労働者の実態調査」をまとめて発表した。(中略)

〈不満と不安〉フルタイムの平均像は、年

令二十八歳、勤続八年、未婚、既婚は半々で、仕事は事務が過半数を占める。日ごろ職場で抱えている主な不満や不安は、要員不足など。これらは男子労働者と共通するが、「仕事が補助的で単調」「賃金、昇進・昇格、能力評価が不公平」といった男女差別感も強まっている。

「職業観」七割が「女性も職業を持つた方がよい」と考えている。「社会に接し、張り合いや生きがいを持ちたいから」という動機が半数強にのぼり、教育費、住宅費、老後の生活資金のためなど経済的理由が次いで多い。い

気分時代の時代

渡辺寿彦著
誠文堂新光社 定価1350円

商業空間における販売促進とマーケティングのプロデュースで、15年のキャリアを持つという筆者が、さまざまな分野で、前衛的に生きる30人の著名人と対談。その内容を通じて、新しい形のライフスタイルをさぐったのが本書。

第2章のカジュアルマインド再発見には、「バイクこそカジュアルライフの原点、自然と一体になれる」という女性ライダーとして有名な堀ひろ子さん(ひろこの&LORO代表)との対談も盛り込まれていて興味ぶかい。筆者自身、81年に36歳で自動二輪免許に挑

まの仕事については、「まあまあ」を含めて六割余りが「やりがいがある」と答えた。

料理にも高級品志向 腕ふるう男性グルメ

〈日本経済新聞・2月16日(女性かわらばん)〉

デパートの高級総菜売り場(デリカラッセ)が繁盛し、シェフ自ら手ほどきする料理教室も人気上々。このきらびやかな食通文化、有閑マダムや一部の独身女性貴族が主役かと思つたら、意外に男性の支持者も多いとか。ある男性専門の料理教室では、家庭料理の献立の日ほどほどの集まりなのに、名だたる料亭の主人が指導にはせまじると、出席者がぐんと増えるそうだ。

そんな傾向を踏まえて、東京の江上料理学院では、この春から男性グルメのための特別クラス(月一回、土曜)をスタートさせる。挑むのは北京ダック、コイの丸揚げ、ヒラメのテリヤキなど、いずれもおふくろの味とはほど遠いものばかり。授業料も一回平均五千円と、一般の女性向きコースより割高だが、「口のおごった最近の男性は、少々値が張つても豪華な料理を求めているはず」と院長の江上栄子さんは鼻息荒い。(後略)

戦、見事少年時代の夢をかなえたというバイクフリーク。これからの価値感や人びとのライフスタイルの変化、とりわけヤングの志向を考えるうえで有効。専門店のカジュアル化などという章も含まれ販売店さま必読の一冊といえるでしょう。





まつりだワッショイ!
サリアンみこしのパレードだ!

Yamaha Topics

ヤマハニュースは
販売店みなさまの
情報誌です。

お店のみなさまがつくる、みなさまのための「ヤマハニュース」をめざして、積極的な誌上参加をお待ちしております。
ご商売にまつわるさまざまな話題、明るいニュースなど、どんなものでも結構です。お電話で、お手紙でどうぞお気軽にお寄せ下さい。取材要請、ご質問、ご相談もどうぞ。宛先は
〒438 静岡県静岡市新井
2500 ヤマハ発動機株式会社
社宣伝部宣伝一課
「ヤマハニュース」係
☎05383(2)1111 内線356

〔ヤマハ静岡・沼津営業所〕ヤマハオートバイ全車種、オートバイ用品、カー、ヨット、ボート、マリン用品から、ジェットスキーやウインドサーフィンに至るまで、バラエティに富んだ商品構成の新しい販売店さんが誕生しました。
2月10日静岡県沼津市にオープンしたピア・オトミさん（大木理久夫社長）がそれ。約500坪の店頭オープンスペース（展示場）には、



↑スクーター、スポーツからヨット、ボートまでレジャーモードいっぱい店内

↓新発売間もないサリアンの大学展示で道行く人の目を奪ったピア・オトミさんの店頭

オートバイからマリン用品まで
豊富な品揃えに話題集中!

〔沖縄ヤマハ機〕 ジャストスクーター・サリアンと宮崎美子さんは、ここ沖縄でも早くも人氣急上昇。
特に新発売間もない1月29日から31日までの3日間には、名護市で開かれた恒例の「桜まつり」にサリアンが登場。最終日、クライマックスのメインパレードでは約3万人の観衆が見守る中を、地元販売店さまと沖縄ヤマハのスタッフが、サリアンみこしをかっついて練り歩き、大かつさいを集めました。
サリアンみこしのこのパレードは、本土より一足早い沖縄の「さくらまつり」の話題をさらい、以後のサリアン旋風の起爆剤ともなっています。





ヤマハスポーツバイクの数々とヨーロッパなどがよく展示され、早くも地域の話題を呼んでいます。マリナーの経営者・大木社長が、これまでのカートショップ経営などの実績をもとに、新規オートバイ市場の開拓、マリン用品の充実をと開店されたもので、総合レジャーショップとしての今後が、注目されています。

'82モーターズ・ポーツシーズン開幕! 全日本トライアル第1戦

今年も熱戦が予想される興味深いモーターズポーツ界ですが、そのトップをきって全日本選手権トライアルシリーズが、いよいよスタートしました。

第11回東京モーターサイクルショー

3月26日から3日間開催

バイクファンの中にシーズンの到来を告げる春の恒例行事「東京モーターサイクルショー」が、今月も3月26日から28日まで3日間わたり、東京文京区の後楽園スタジアム内・展示センター1号館で開催されます。

今年で11回目を迎えるこのショーには、内外の最新鋭モデルに、世界の名車、豪華車、珍車、クラシック車、カスタム車、レース用マシン、夢の車...など、約200台が展示されるほか安全運転講習会、二輪映画会、人気車コ

ンテスト、モーターズポーツ相談室、関連商品展示即売会など、もりだくさんの催しもあわせて開催されます。春の一日、お客さまをお誘いあわせのうえ、お出かけになられてはいかがでしょうか。

▼主催・第11回東京モーターサイクルショー実行委員会(TEL0423-817275)
▼入場料・大人700円、中学生500円、小学生100円

'82 YRS ヤマハライディングスクール

一段と充実した内容で
3月スタート!!



セフティリーダーの養成を目的として、一流インストラクターの指導のもとに本格トレーニングが行なわれるヤマハライディングスクール(YRS)。ハードなトレーニングによって安全教育の楽しさを体験させ、さらに合宿生活を通じてパートナーシップの醸成を図るこの教室の'82年度開講スケジュールが決定しました。

スポーツランドSUGOのみの開催だった昨年よりさらに内容を充実させての今年、会場をスポーツランドSUGOに加えて岡山県和気郡の中山サーキットにも新設。さらに開講数も増やすなど、全国のユーザーの要望に応えています。

お店のスポーツユーザーのクラブ活動に、また安全運転意識の啓蒙やライディング技術の指導に、ぜひこのヤマハライディングスクールをご活用ください。

〈基本カリキュラム〉

実技Ⅰ / 基本バランス訓練、ブレーキング訓練、コーナリング訓練、実力診断

実技Ⅱ / 高速走行訓練、実力診断

実技Ⅲ / オフロード走行訓練、モトクロス走行訓練、実力診断

座学 / 安全運転とやさしい心理学

その他 / ビデオ教室、実力診断によるランク認定

※練習車は主催者側で用意(ロード車=400cc~750cc、オフロード車=125cc)。会費は中山サーキット=15,000円、スポーツランドSUGO=17,000円。

〈開講スケジュール〉

中山サーキット	
① 3月1日(月)~2日(火)	④ 4月10日(出)~11日(日)
② 3月3日(水)~4日(木)	⑤ 5月8日(出)~9日(日)
③ 3月5日(金)~6日(土)	⑥ 5月10日(月)~11日(火)
④ 3月8日(月)~9日(火)	⑦ 6月7日(月)~8日(火)
⑤ 3月10日(水)~11日(木)	⑧ 6月9日(水)~10日(木)
⑥ 3月12日(金)~13日(土)	⑨ 7月26日(月)~27日(火)
	⑩ 7月28日(水)~29日(木)
	⑪ 8月16日(月)~17日(火)
	⑫ 8月18日(水)~19日(木)
	⑬ 8月23日(月)~24日(火)
	⑭ 8月25日(水)~26日(木)
	⑮ 9月6日(月)~7日(火)
	⑯ 9月8日(水)~9日(木)
	⑰ 10月11日(月)~12日(火)

スポーツランドSUGO	
① 3月25日(木)~26日(金)	
② 4月5日(月)~6日(火)	
③ 4月7日(水)~8日(木)	

※詳しくは担当セールスマンまでお問合せください。

ウィンター・モーターズポーツの花 スノースクランブルに根づよい人気

スノースクランブル—ご存知スノーモビルによる雪原のモトクロスのことですが、このアクティブなウィンターズポーツがヤングの間に根

づよい人気をつづけています。写真は1月24日、新潟県石打の小田急石打スキー場で開かれた「全日本選手権スノースクランブル第1戦」

2月14日奈良県生駒で開催された全日本トライアル選手権第1戦では、「第2の黄金期」と呼ばれる最近のトライアルブームを裏づけるかのようには、約3500名の観戦者が詰めかけ熱気あふれるトライが展開されました。



(MFJ新潟県スポーツ委員会)の模様ですが、ここでも北は北海道から南は神奈川までのべ95名の選手が参加、ほとんどの選手がヤマハスノーモビルを駆って雪原にホットなデッドヒートをくりひろげていました。



スポーツの季節がやってきた!

'82スポーツランドSUGO

3/21(日) プレイゾーン・オープン

家族でのレジャーにも最適!
 たえば、お子さまの春休みを利用して、家族旅行はいかがでしょうか。3月、4月のSUGOは、自然の恵みもいっぱい。お子さまの教育材料には事欠きません。しかも、ご家族でお楽しみいただけるイベントからスポーツも、もりだくさん。「アメリカ西部開拓

の大地にも、いまや春の息吹が……。そう、スポーツランドSUGOの草木や動物たちも、いっせいに活動開始です。210万㎡の広大なプレイゾーンも、いよいよ3月21日(日)より'82年度のオープン。今春最大のイベント「アメリカ西部開拓博」を筆頭に、はやくも数かずの面白イベントやモータースポーツイベントがにぎやかに繰りひろげられます。

春のツリーリングはSUGOから!
 東北自動車道の村田インターチェンジからわずか15分のスポーツランドSUGO。それだけにツリーリングの立寄地としても、もってこいの施設といえます。春の1日をフルに楽しめる遊びが勢揃いしたSUGOにはもちろんツリーリングの疲れをいやすホテルも完備。お店のお客さまとのコミ、ユニケーションづくりに、積極的にご利用ください。



博」や「春の山菜味覚まつり」とタイミングを合わせたご旅行を、ご計画ください。

SUGO イベント・スケジュール

- 3月
- 7(日) ●SLミニエンデューロ第1戦
 - SLカートライセンススクール
 - MFJ東北選手権トライアル第1戦
 - SLモトクロス第1戦
 - プレイゾーン・オープン
 - SLカートレース兼東北選手権第1戦
 - SUGOトライアスロン
 - アメリカ西部開拓博
 - 21(日) 5/23(日) ●ヤマハライディングスクール・1日コース
 - ヤマハライディングスクール・2日コース(1/26(金))
 - わんぱくスキースクール(1/31(木))
 - ジヨイフルテニラス(1/30(水))

スポーツランドSUGO

- 〒989-114 宮城県柴田郡村田町菅生 022483-3111
- SUGO仙台営業所
- 〒983 仙台市一番町1-4-1 福田ビルF 0222-840114
- SUGO東京営業所
- 〒105 東京都港区東新橋1-1-2 秀和新橋ビル3F 03-574-8021



- 4月
- 31(木) ●SLミニロード第1戦
 - ロードライセンススクール
 - MFJ東北選手権モトクロス第1戦
 - 春休み自然教室(1/4/2(金))
 - ★
 - 3(出) 5/30(日) ●春の山菜味覚まつり/春の山菜狩り
 - SLロードテクニカルスクール(1/4(日))
 - SLロードレース第1戦
 - SLミニエンデューロ第2戦
 - SLカートライセンススクール
 - ヤマハライディングスクール・2日コース(1/6(水))
 - ヤマハライディングスクール・2日コース(1/8(金))
 - ヤマハライディングスクール・2日コース(1/11(日))
 - SLカートレース第2戦
 - SUGOテクニカルニック(1/18(日))
 - ファミリートニス教室
 - SCS東日本チャンピオンレース(四輪)
 - SLトライアル第1戦
 - 日本フォーミュラ・パシフィック選手権
 - SLトライデューロ大会
 - さくらまつり
 - バーベキュー&ステキ・ワインまつり
 - SLロードレース第2戦
 - ロードライセンススクール
 - SLモトクロスレーシングスクール
 - ヤマハライディングスクール・1日コース
 - ヤマハライディングスクール・1日コース

※イベントについての詳細は、スポーツランドSUGO営業課または仙台、東京の各営業所へお問い合わせください。なお、○★の各イベントは、以下の窓口で申込み受けを行っております。○ヤマハラ発動機(仙台支店) 0222-981481 ●ヤマハラ発動機(安全運転推進本部) 053833-1211 ●SUGO東京営業所 03-574-8021 ●SUGO仙台営業所 0222-840114

より行動的なスクーターライフのための
ファッション&アクセサリーズ
サリアン・ペアコレクション。
どうぞ、サリアン本体とペアでおすすすめください。

ファッション

どんなお客さまにもピッタリのサリアン。そのジャスト感覚をまた一段とアップするのが、スポーティなサリアン・ファッションアイテムのかずかずです。ご紹介した●ジャケット&オーバーオール●トレーナー●ヘルメット●バンダナの他にも●ジャンプスーツ●スイングトップ●スポーツベスト●Tシャツ●レインウェア●キャップ●スポーツタオル●スポーツバッグ●スポーツグラス……と盛りだくさん。

ジャケット&オーバーオール

豊富な着こなしが楽しめるジャケットとオーバーオール。綿35%、ポリエステル65%のコーティング加工素材で、カーキとネイビーの2色、S、M、Lの3サイズがあります。ジャケット7500円、オーバーオール9000円。



トレーナー

綿100%のトレーナーは発泡加工のロゴポイントが新鮮。便利なポケット付でカラーは、ホワイト、レッド、カーキ、ヤマブキ、サックスの5色。MとLの2サイズ、5000円。



バンダナ

サリアン・ロゴ入りのオリジナル・バンダナ。レッドとダークブルーの2色。600円。

女性用ヘルメット

女性のために新開発したニュータイプのヘルメット。サリアンの車体色と同じホワイト、レッド、シルバーの3カラー、MとLの2サイズがあります。8000円。



専用アクセサリ用品

ジャストスクーター・サリアンをより機能的にお使いいただくための専用アクセサリ用品は、じつに20種。その詳細は前号の本欄でご紹介したとおりですが、フェアリング、リヤボックス、前後バスケット……などは早くもお客さまに大好評です。



リヤボックス

大きな収納力で、どんなお客さまにも重宝がられるリヤボックス。電子ロック付の安心設計、車体色にあわせてレッド、ホワイト、ブルーの3カラー。8900円。

フェアリング

フォーシーズン通して効果を発揮するスタイリッシュなフェアリング。車体色と同じレッド、ホワイト、ブルーの3カラー。9300円。

“Just my Salient”

ジヤストスクーター



ピッタリ感。

スクーターがわが街のクルマの主流になってきた。1982年春、スクーターのヤマハから新発売サリアン。足もとゆったり、しかもコンパクト、嬉しい加速力、登坂力。サイズもパワーもフィーリングもあなたのかわらぬに、面白いほどのピッタリ感。バックルからヘルメットがまで数々の「名車」を世に送ったヤマハのスクーター・クオリティが生んだジヤストなスクーター。スクーターもスペシャルテイの時代ですね。

サリアン・スーパーデラックス(CA50ES)標準現金価格¥138,000・サリアン・デラックス(CA50E)標準現金価格¥129,000 ●セル付 ●49cc ●3.6馬力 ●パワフルマチック ●原付免許がほしいと思ったら「ヤマハ原付免許教室」へどうぞ ●お支払いには「ヤマハクレジット」が便利です ●ヘルメットをお忘れずに ●ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL.05383(2)1111

YAMAHA

新発売 **サリアン** YAMAHA SCOOTER

広告活動ご紹介

“ジヤスト・マイ・サリアン。——もうご覧になりましたか？ ジヤストスクーター・サリアンの新発売広告。この雑誌広告と同時に新聞広告、テレビCMなど大規模なマス広告キャンペーンを展開中です。春一番のサリアン旋風、どうぞこの効果をみなさまの春商戦にお役立てください。